(刊日)

改組派と閻氏系を合流せしめ 全支的聯立內閣組織 を斷行

改造を行ひ改組派と提携する計畫だと脱語した由である、即ち氏の政府改革家は汪が昨日館見した英國領事に難し、今年中に西北軍を平定したる後、中央政府大人に第二十五日發電』蔣介石氏は漢定の漢口行を中止し南京で默西北軍戦事につき采載を振ってるる 系統氏を扇側せしめ関兵職左訳と閣議山系と合派した全支的職立内職を都織せんとするものよ如くで改造を行ひ改組派と提携する計畫 だと戝語した由である、即ち氏の政府改革派は汪 四北軍の形勢不利

速に影響を行ひ延色の態色重も観大政府支持に強いて居り西北軍はジリーへ引つ込む外なしと見らる六分政府軍に勝昧を見るに至つた、即ち中央は兵力金力売分あり西北軍の連続で売分なるに先立ち迅客益々整ひ形勢は離く西北軍に不利に展開して來た模様である、精觀を綜合するに帰車の無勢は四分常益々整ひ形勢は離く西北軍に不利に展開して來た模様である、精觀を綜合するに帰車の無勢は四分派上海廿五日設置』河南、湖北に大進出を顕常された西北軍は其後行動設活を続ぐに反し政府職は軍 任を果す -

府軍側に六分の勝味

けさのうらる丸で元氣よく 官民多數の出迎へを受けて 黒い色のロングを

仙石總裁 を読ひ挨拶した 元氣な總裁は中央の。だが錯骸の いふやうな頭大関

銀馬和書役を随へ変定の如く十六の大任を引受けた仙石浦銀標就はの大任を引受けた仙石浦銀標就は

で骨ながら國家に最後の御奉公を

(日曜日)

日本の議談政策は政府當 知らの間に、観々に論ず

東支鐵破壞陰

謀の

勞農決死隊を檢學

沿線同志に

爆弾配給

際に、満洲は暗いから明るい常燈 とアッサリ答へ、機裁は御社任 は二十年も前に確立してる 死職で本国より第に搬入した爆弾を秘密種に東機治線の周志にに赤色絵課題首謀者メルツテロフ以下二十五名を逮捕し目下版「ヘルピン二十五日變電」支那幽宮派はロシア領華館内に潜伏していビン二十五日變電」支那幽宮派はロシア領華館内に潜伏 である を不通ならしめ支那の回收運動に復讐せんとしたものである。

議派、重役の展覧はもう無いさ まだ理事の名も知らぬ位だか

『順等市内官民有力夫多數の一しの自動車にて消機本試へ向つた部長其他田中民政署長、帳 | 出迎へ続拶を受けた後。滿鶴差延

のる今日は何等の用意もない滿 のものもあることで調示の必要 のものもあることで調示の必要 で協力し、滿縷の使命を徹底さ で協力し、滿縷の使命を徹底さ

社業の發展には

協力一致が必要

答へた、魔で戀滅は鳳凰斑の水 物やするが、必らずしも証外と には員のあつた場合は適任者を

時五分大平副總裁の光理 勝者、昨夜船中で今日諸有に 大きなすべく線島秘書同 共今から御練拶があります」と 製に終て重役の挨拶を受 で流域の 椅子に 驚 龍、 歌劇級 仙石總裁社員に挨拶

離有線をのに裁論思測は 

借家稅徵收

吉林市當局の誅求

七日湖來連の筈

を迎へて ての日の満鐵本社 氣分漲る

は、が一覧に入口の呼嘘に出迎へる が九時を過ぎる二分、ピカノ を と 3 2 1 號が光頭を過ぎる二分、ピカノ 画 が九時を過ぎる二分、ピカノ 画 が九時を過ぎる二分、ピカノ を 3 2 1 號が光頭に書も無く玄画 立ち、展井初書役先づ事外に降り まる、展井初書役先づ事外に降り まる、展井初書役先づ事外に降り まる、展井初書役先づ事外に降り まる、展井初書役先の場で無承のソフトに まる、展井初書を表で支属を入り其後に入り

倫敦符議の 經費緊縮

氣豫報

刑 今回の日

帽子をとつて音響しつ ♪ 除敗を上へに並んだ守螺貨傷の散戯に一々へに並んだ守螺貨傷の散戯に一々

一九節係を規定し省政府の沖線を 郷衛鷹では煎に機取房損額で章程 に高に機取房損額で章程 とり百五十萬園を要求したが大蔵 ではワシントンジュネーで開き ではワシントンジュネーで開き 午後九時半濟南極由北平へ向つた (本学)、大学では二十五日率天丸で来青、問題の は二十五日率天丸で来青、問題の は二十五日率大丸で来青、問題の

一度に三大臣 被、必要であるかも知れぬ。 は、必要であるかも知れぬ。 天地もまた緊痛緊張の世界たらんとし、北川浙脈、多まさに來らんとす 老後の思ひ出などと 干繭一一、カ〇 干後 西湖南川四、四九 清後 田出 六、二酉 日後

無で、今朝来伝。 「知ぬりから引き受けやせん、満州 を死ぬまで働くつもりだといふ意 他石精鐵總裁、無事施佐っ 大観小觀

佐分利公使

度に査定する模様である

きのふ青島視祭

?」と自ら進んでポーズをとつてが顕る 時等『之で よか。どうか

の午前十一時過ぎ藤井秘書役、郷一等の挨拶を受けた等の挨拶を受けた。

澤田總領事赴任

、連翹者は更に芋藍式に搬撃される橡標に配給し松布江大機器を破壊して東支機と配給し松布江大機器を破壊して東支機

新勞農黨結黨は 一應承認の方針 共産分子あらば解散

在住外人からも ▲ 本谷光太郎氏 (同顧問海軍神職 ▲五泉賢三氏 辯護士) 家族同伴 ▲鍋鳥薫門氏(同秘書役) 同上機のうらる丸にて齎連 世六日入 任關東歐技師(六等) 際田ナラ氏(闕東軍経理部長夫 田中清子氏(田中民政署長夫人) 同上間権野氏(補鐵理事夫人) 同上 田巍數氏。極東遇報社長)同

長)二十七日九時神急行にてハー 本郷島信司氏(哈爾濱蔣礦事務所・大郎氏(貴族院調員) 二上 西迪 **拓務辭令** 【東京二十六日 阿付鵬信省事務官 **配子** 【東京十六日葵電】 編東順遞信事務官 氏、奉天海織公所長)二 宵木 中屋國太郎

無理

撤町六六

せ

ぬ事が

に出るのが例だったのも今度は

恋蓮と色々機能を交に「我

の長壽法

東など情かずとうくく社伝の途をなど情かずとうく、 機気者の言れのだから)とて、側近者の言れのだから)とて、側近者の言れのだから)とて、側近者の言れのだから)とて、側近者の言れのだから)とて、側近者の言れのであると言いずとうく、社社のを 歳の老陰とて病後 番)の似石満線総 は(天下の御意見 虚禮の歡送迎は大嫌

と社様に渡っている

社から門司あたりまで お出逃へといつた程で、従来なら浦鑛本といった程で、従来なら浦鑛本 版公社任にますから強い。 を記述するといっために挨拶に出かけた。 を記述するといったが、他で思想は一般では、他では を記述するといったが、他で思想は「鬼猫けた」 を記述するといった脚便で脚もなけた。 を記述するといった脚便で脚もなけた。 を記述するといった脚便で脚もなけた。 を記述するといった脚便で脚もなけた。 を記述するといった脚子に、東京本 を記述するといき、東京本 を記述するといき、また。 を記述する。 を記述する。

ルだ土地とて、船へ訪問に來た 総繋が九無社長時代に十年も住 総繋が九無社長時代に十年も住

葉など情かずとうし

…従来の縁載は、赴低に際し、

▼…美な水の社長線線を担任の際東京から取後週や利禰屋などが同京から取後週や利禰屋などが同京から取後週や利禰屋などが同京から取後週や利禰屋などが同 行し鋼機廠を収つたり、利職間で口続き落したりしたものだが、低石總裁では迚も見込が無いとあきらめてか、そんな能場が、低石總裁では迚も見込が無いとあきらめてか、そんな能場が、低石總裁は整たりとものだけで、うらる丸を表した。 

有志談と四年號の連中域そんなに少くなったか、人間は無理をすると共生がは別年、大田、東京は出来な」と感慨無量をするため、大田、東京は出来な」と感慨無量をから北地観だ。同葉地といふものが、第一般観光といふものが、第一般観光といふものが、第一般観光といふものが、第一般観光といふものが、第一般観光といふものはやらぬが、第一般観光を変しても直ぐこの通り締るよ」と、大病後とはの変しても直ぐこの。

いてありましたが……」と離かな関くと「そんな馬鹿なことはない、然し昔から健啖で今でも食態は可なりあるよ、ウヰスキーも飲む、此夏北部絨院に入った時も、誰かな葡萄酒を差上げ

を架けやうといふやうた話がありまは旺峰の最も近い地歌に機樹の最も近い地歌に機樹の屋に 来てるなかつたからな」と続数。 を深けやうといふやうな話があ を深けやうといふやうな話があ

の思州話八一記者)

などは駄目だされるよーだ人 だといつて持つで来たよ」といって啊々大笑した。 中を見て繋ぎたいといったが、 中を見て繋ぎたいといったが、 を眺めながら「我壁があた三十を眺めながら「我壁があた三十を眺めながら「我壁があた三十を前に比較すると菱膜しやうが

本日交通部電政公債二千萬元競行 の件を決定した、債務等限十年利 の件を決定した、債務等限十年利 一千萬元發行

國民政府の 電政公債

中二十齢者、此夜ばからは腫爪らしい社會的操位や震暑を忘れて何 ・中二十齢者、此夜ばからは腫爪ら しい社會的操位や震暑を忘れて何 ・大年前の角帽類分に打解して握ぎ

かで見し可 子七郎 通り 食十と主ちか



本語さだ、メッキリタイト

本語は、メッキリタイト

本語は、スロー

本語

ぶ寒さだ、メツキリ多めいてしまつて北ク風が脱に冷たい、しばらく蜒かい日が凝いたと思つたら則けて今日、何んとい

けふの「満洲天氣」も

ながくは頼くまい

始つた學校軍事訓練査閱

けふ大連は南滿工專を皮切りに

り三摩年を最初に熊檢、教懐など校應及二中グラウンドに於て興吹きつける近米にない思さであつたにも続らず午前八時五十分よ

も元無よく織けられ午後三時過終了した。

敵寒と闘

を はず を は す を は す を は す を は す を は す を は す を は す を は す を は す を は す を は な の 他 の 陽底高き 派 で を の 他 の 陽底の で 後来の か、また 家族 そ を し に 供 ま は れる る と を か と し に 供 ま は れる る と と に た な か と も 説 宅 が 便 に 終 和 さ れる に し を か か と も 説 宅 が 便 に 終 和 さ れる に し か の で な か と は で で な の を 情は 一 橋 さ れる も の と 見ら

消息を斷ってぬた

E

熊狩

目下調査の準備中 不景策ぶりを知實に現してゐま
が九月に入つてポッくく滅り十 グンと 扱ってしまいまし

百五名であると

大連印刷業組合 勤續者表彰式 あす擧行する

大連印刷製組合第五回建設者表彰大連印刷製組合第五回建設者表彰者は二十年融資三名、同十五東彰者は二十年融資三名、同十五東彰者は二十年融資三名、同十五東彰者は二十年配資三名、同十五名、同五年

「東京神像二十六日は」ロシアのロシアノビルゲーラゾウ號が動してエスキモー部家を發見し、物々に達するや結氷に遭ひ五尺ぐらるが、よだが二十五日避館に入港した。 は大に領遣はれたと えだが二十五日避館に入港した。 は大に領遣は地名ののよい。 は大に領遣は地路を登りし、物々を焼いよる貿易をなし同月下領、特を始め四十齢頭を射留のた。 作を挽いよる貿易をなし同月下領、特を始め四十齢頭を射留のた。 は大に領遣はれたと し 東馬に補るもの多く、その安否 に 大に領遣はれたと ロシャ北洋探險隊凾館に入港 今後ますく被るのではない。殊に目につくのはローカル

# 密輸犯人の

であつたが、大陸に於て見常がつ であつたが、大陸に於て見常がつ 極力恐人の何者であるかを調査中 一十五日午後三時ごろ大連髪では 「一大連髪では、一大連髪では 「一大連髪では、一大連髪では 「一大連髪では、一大連髪に撃

目星つく り巧妙に信選されて居つたらめ本ったもので使用者は日オ人てまっ 日まで認見されなかつたものであると

十錢偽造貨

8

夜間用

皆様の

は

履物店

94

3628

年一月一日

4309

午前九時よりといふのに使べ押かけてくる。今回は特に季節向特價 品を並べ立て、ストーヴ、冬辰類。 コート、毛行、冬を迎へるに必要。 コート、毛行、冬を迎へるに必要。 市内一流商店三十店舗の合同になる大連職入組合主催の第三回影響時、その最初の日の二十六日は宮地の第三回影響時が表に現前が利いたか、緊縮節約が表に現前になる。

多物ならナンでも来 

三名行方不明

海中に墜つ 軍機

キング・オブ・ キングス上映 大好評を博しつ、ある同映書 を十月廿六、七日午後七時よ り青年會館にて上映 入場料

定である

である、明朝末明大連港外離の資 上極めて平穏で愉快な航海を置け 上極めて平穏で愉快な航海を置け 上極めて平穏で愉快な航海を置け

大連輸組廉賣會

賑ふ

### 時代は移る

青い火・赤い火と徒らに そうぞう敷い音響とのみに依つ て質にファンの諸足を得らる」 ものではない。そとに質によい

のおあいて

輕快な享樂

ータの慰安 の對象となり得るのではありま ナまいか。

どうぞータ御散北の御序に是 非湖立寄りを

(來る二十七日開店) カフュー道は

満鐡社宅係が合理的緩和策さして

める

(=)

関年の今頃に比較して頗る減少を 一般に願えて軽解による人の動きが 一般に願えて軽解による人の動きが 何きも最近頗る閑散を極め、やむがしてゐる、大阪商船内地航路の 船會社に及ぶ 商船内地航路のお客さん メッキリ減少した では 調を辿りつゝあるが、同店旅客係

犯人の 自白によると大洋 である。右に嗣し巡内検察官は である。右に嗣し巡内検察官は である。右に嗣し巡内検察官は である。右に嗣し巡内検察官は である。右に嗣し巡内検察官は である。右に嗣し巡内検察官は

泥はび

こる

り續き捜査中である に発

鼻

スプリン

ト号

沙河口樹商場内電話ラハ六六

速

電話式

田

且

咽

一四五盐電

醫

カフ長中短 サイ距距距 アド離離海

剛は大敵、

御用心第

大連署に攀つた、油脈は大敵。市民は御用心御用心………・十五日から二十六日の朝までの間にも之れ等コソ泥が七名ほど、無機者の忍び込み――竇となく夜となくコソ泥は横行する、二無機者の忍び込み――竇となく夜となくコソ泥が植えた。ボーイの出來心、醪塗夫の獲郷ひ寒くなつてコソ泥が植えた。ボーイの出來心、醪塗夫の獲郷ひ

が被つた事は如何にも世の中の大して目につきませんが三等客大して目につきませんが三等客大して目につきませんが三等客 **勿論例年この月になると少くな** 

旅行客

海賊の申立と 金があはぬ

何者か以上前を刎ねたか

が自白の金額より多いし反動に ・ 一洋が少なくなつであるまだシッカリ取調べを行つてゐるまだシッカリ取調べを行つてゐないの で詳細は不明である、犯人等も 確實な根據があつていつてゐる のかソレも今のところ不明である るらしいと云ふの周が胡鷹化してゐる ない、免職にしたのよるの事に自白してある。 ない、免職にしたのはその洋服

健房の奥に陰医してゐたが家人に 主家の現金十八圓を窃取し地下記 主家の現金十八圓を窃取し地下記

地先で逮捕された
地先で逮捕された
神明高女園を拾得無領し逃走し
の自動単は約五國、草野の自動車
計時側す五國を拾得無領し逃走し
の自動単は約五國、草野の自動車

SERVE X

美津灣

**申报安排自** 

後等の掠奪して所持してるた。 り歌重な展鵬べを行つてるるが、 り歌重な展鵬べを行つてるるが、 に押送され目下脳内厳察官様とな り歌重な展鵬べを行つてるるが、 に押送され目下脳内厳察官様とな となったのは賊を逮捕した際局が になったのは賊を逮捕した際局が となったのは賊を逮捕した際局が となったのは、関の免職 となったのは、として上前をがたのではな 怪しい免職火夫

と語つてるた

ーイ苗茂恒(Te)

10九寮職太郎次かたボージニ 補一着ほか四點時

薬船券を取上げ

升來出に輕手が一レカスイラの上最

いさ下べらくおご品他度一

連支店

現金銀 十一枚、支那網子兒二十四枚 三十枚、同十鏈銀貨三枚、同十鏈銀 三十枚、同十鏈銀貨三百二十枚 一十一枚、小洋二十鏈銀貨千六百 一十一枚、小洋二十鏈銀貨千六百 岩手縣疑獄

丸茂前知事を再調べ

類二既時價七圓を衝ッ擦ふたに侵入し同居著曲改養所有の次たに侵入し同居著曲改養所有の次に受入し同居著曲改養所有の次

形様 一雑情格小洋干園四十二銭を がたに窓び込み大郷原三総および かたに窓び込み大郷原三総および がは、一雑情格小洋干園四十二銭を

苦力の無智に附込み

大連丸の船員を装ふ支那人

で失つた、池内氏は目下内地障省

時自宅に於て告別式のみを行ふと 中なので郷職を止め廿七日午後二

御會

御

禮

友親村

人戚上

同同造

代總人及 代聽或親父 獨和安子 玉安松橫松渡松灣四時中 遊鳥內下邊下

日曜の催し

耐九時より中

より青年曾館 中口曜學校生徒大會 午

會葬御禮

妻

1

風呂田秀可

雅· 康泰 高長 萩野 谷 信 順

所に賣却

中遺失した巡捕王書文の銭編続時一中遺失した巡捕王書文の銭編続時一

石板三枚便格三十四を等成した 三日夜千代田町三六大連大連石駅 作所に侵入し出、赤、青の各大理 作所に侵入し出、赤、青の各大理

カ茂氏は二十六日も再識べを受け が通局長丸茂藤平氏を召喚約七時 間に重り緑巻人として反跳べた、 

ゆふべ満洲船渠

の袋叩き

北風身に沁み

-

百

目動車又衝突

蹴球部員十二名に判決 リスト教青年會

ところ間も無く逮捕された

悪しみも去らない™ 忠楽氏は過数長女を 思楽氏は過数長女を

に交換三女テュス 大倉主米 総内氏ニー 大倉主米 総内思惑ー

二十五日午前八時五十分ごろ大連 四五平和タクシー運輸手車を能及町人 (こ)の操縦する自動車と能及町人 (こ)の操縦する自動車と能及町人

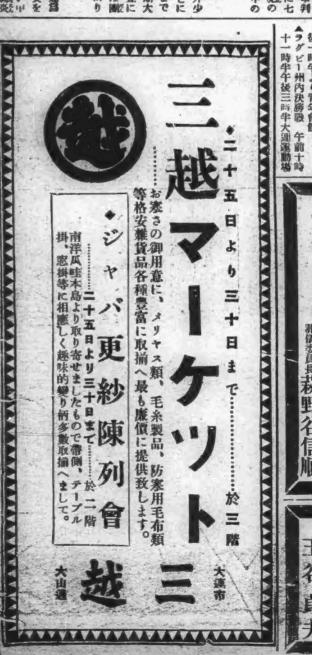
殉職者は社葬にする 0

**遺憾は二十六日火郷に附し二十九 | 何れも記郷を執行される筈である織總魏・能率係・動務・漢川柳作氏の 他の飛襲者は二十七日鞍山に於て飛戦した溝 て行ふこと、決定した、なほその大渓山爆破作業に於て飛戦した溝 て行ふこと、決定した、なほその** 

はないかと言ばれてゐる 百九十五間、原因は艦草の吸敷で時十五分縦火したが擬響は約二千 

修業園が浄化作業 修業園が海化作業 特、農根海線理事等認起のもとに 特、農根海線理事等認起のもとに 特に市内情報運事等認起のもとに が、一般市民有志並に を予選すると、なは を記述された。 を記述された。 を記述された。 を記述のもとに を記述された。 を記述さ、





要するに市場に関する数字や専用機構型とはどんな事かと云ふ

歌が持つ强みはこの既であると りーマンが七分通を占めてゐる りーマンが七分通を占めてゐる ので、内地の都市に比し大連商 のする。

消費組合は

五四二八五四五七四五九 四五七七五五九 四二七〇五九八八 一一八九八八二 一一七〇五九八八 一一八九八八 一一八九八八

・ ニュー ニュー ニュー ニュー ニュー スピー ストランス 大七三 ニスス 大七三 エスス 大七三

漫經

ると云ふ娘一人に鰐四人の膝やかさゃそらずいた。 後山と新義州の解号へ旅艇が出る。今度は大連が出

則是画

賣上增加

芸雑な経

販賣方の研究

「商業技師」および

市場測量の話

(四)

諸問題は解決の途が見出されるで により商品それ自體に闘する次の はいる。

イ、廣告は如何なる方法を以て行 である。即ち 脱竇手段を決定するにも亦市場

ある。如何なる役に立つかを示しならない。右は市場測量の力を着らればならない。右は市場測量の力を着らればならない。右は市場測量の効用で

石炭を使いて買ふのだか

◆ :: 品物が :: 本後 :: 本後

◆定切取引(単位戦)
◆定切取引(単位戦)
◆定切取引(単位戦)
・ 密付高額 安値 大引
・ 無対 ( 100

物は賣りや

答を與へなくてはならない。

をある。 をおる。 をおる。 ではについて特別に調査すること

古村國際取締役屋野四平街方面に出場

4

受職が行はれて で町では脚しい で町では脚しい

見なければ判らぬる

の競爭

始

(Discount Est)

せんがよろじく……

数税を課したらめ居数業者二十名 居教業者ストライキ 上海では

一言

種の品物が準備されてあない例 他な表して居ります。然し節約の類 ですから大陸に於ては同等 ですから大陸に於ては日野の気 ですから大陸に於ては日野の気 を共にその効果は如實に示され るものと信じてるます。以上の やうたわけで現在に於ては何等 やったわけで現在に於ては何等 長春雨鐵代表

東支南浦聯絡輸送問題は既電の如 運輸狀態

歐洲向大豆振ふ 製油原料の世界的不振で 知 | 長春即の荷積及び保管運輸の現狀を視察することになつたが、東線では30世で背景線で ・ は一をフ、ブリヤールの諸氏が ・ 日本シーをフ、ブリヤールの諸氏が ・ 日本シーをフ・ブリヤールの諸氏が

運貨も漸騰氣勢

響かぬ不景氣

流石に腰辨町

購買力は減退せぬ

を 決定された 海質併用制は 態々来る十一月一 の現狀につき總主事元木照五郎氏

祖される神想

鮮銀券の流涌制限

對策は充分ある

太平洋會議に鮮銀券流通制限を支那側から提議するそうだが開東州及浦線沿線では文句をつけまれまい、それ以外の土地でのられまい、それ以外の土地でのたことで種を製策も持つてるたことで種を製策も持つてるが開展を表示をして、

蒙つた不利益は從來鮮少でない思惑的爲替取引のために鮮銀のて思惑に類するものは鬱滅する

支那側からの提議に對して

加藤鮮銀總裁語る

は左の如く蓋る 政府常局の金解金蓋行を前提と する節約緊縮に對する必死の努力から新く組合員に於でも消費 力から新く組合員に於でも消費 は左の如く蓋る

等で満洲新大豆に魅する歐洲筋の 特大豆で儲粉契約の既に確定せる 付大豆で儲粉契約の既に確定せる のは十月復十萬九千二百噸、十 のは十月復十萬九千二百噸、十

大豆第三回收

穫豫想(單)

ス千代、小寺雨問題の一段落で 同會識其他に関し次の如く語った 同會識其他に関し次の如く語った

職績はしない、外國営藝に動じったが確實な擔保附な合賃出につたが確實な擔保附な合賃出につたが確實な擔保附な合賃出にから常願に働い。

南洋 林檎の 南洋 林檎の 南洋 本年の林檎の生産多量なるに鑑み 大連山縣消離田商會に於ては南洋 大連山縣消離田商會に於ては南洋 大連山縣消離田商會に於ては南洋 大連山縣消離田商舎間し先づ見本と して林檎五百畝を廿八日田帆のあ との外商に宛て弾戸に仕向け更に南洋

白米小賣值下

◇南

以

前年推定資收量 一五七人二五 一一三〇二一三〇 一三六二四四 三六二四四 三六二四四 ※ × × ×

社が其の社員を家族と見て社員の 社校的大きいからである、担信 が大変出することが若しも難事 でないとすれば其償還は敢て受力と となる、外債は國家並に公私関告 を負ふべきものと自歴せればなら ないが、國家も公私関と八千萬人に よつて形成せられて居る以上共寛 にないとすれば其償還は敢て憂めの告しまでは が表しる難事 のは會社であると思ふ、經濟が は較的大きいからである、北會 のは自己を は、次に付十八四十銭の割合 は、次に方は、一人十八四十銭の割合 は、次に方は、一人十八四十銭の割合 は、次に方は、一人に付十八四十 は、次に方は、一人に付十八四十 は、次に方は、一人に付十八四十 は、次に方は、一人に付十八四十 は、一人に付け、一人に付十八四十 は、一人に付け、一人に付け、一人に対し、経濟が のは自己には、経濟が のには、経濟が のには、とすれば、上、経濟が のには、とすれば、上、経濟が のには、といからである、北・自己 のには、経濟が のには、といからである。、と見て社員の

引寄引寄現。 一一品 一

に日く「駅橋のため関通式はしまった日子(「駅橋のため関通式はしまった日子」といいています。 電話の話初と温泉地晩津の公

際油の原料として大豆の代りに機・満洲豆粕の活路 内地通りでは

滅往

第河豆粕が巾を到

印を利かす時が来やう 

1 行機関してストライキを始めた。
三十仙の牛肉が六十値に陸貴・
三十仙の牛肉が六十値に陸貴・









と来てぶつより軽へ、極を確ひつ

世ち上つた。 地ち上つた。

ねエ。太吉なんかどうだって、 「からづけつの皺兵術に抜け目は

「合甌だ、お大騎」

でわしは、この身なりが悪い』

月二回の確定で銀行すると

世協二一日間 関り

||臨時特別大與行

滞洲代理店

日本賣藥株式會社圖

の外に更に四六倍判入頁の「マキ共に従来帰日に發行して居た通信

お

残補血 紅

精

龍 力減退、生殖機能

能減退、貧血症

純良無比の人參ヱキス

のだが、

指像だから連れつてやら

砂に踵を喰はせながら、整地へ

◆トンリアーユニ◆
曲 進 行 活 - 「
実恒準値・江直貝伏・子久花欄
時田岡・郎大英楠・子かた江入
野中・子蓉村梅・江舞川夏・彦
浩田輝・子闌澤・治英

ド・ラ・ロック氏の相手女働とし「愉快な票徴」に於て主役ロッ

になった。

銀が遊ばれた。

B

髑髏の革袋(三五)

「使願へかね。お大精」

ついや、さらではない。

滿鐵音樂會

重演

(四y

平

(151)

廿二日より時は典行

黑

設和

默

瀬八郎、 散兵衛

三人の人影が、 太吉の三人だつた

白い砂と青い松、

といつたる

□二年ばかし前に兵庫からこへ「田玉郎といふ 人を 知らないか

來た人なんだが……」

前達 二人でやつてみてく

が終別い、智惠が出さらにもな助兵衛と太吉、職を見合はせたからなア」 があるのだし いけねエんだな。お大將」 館も知らねエ相手だ 世界 (本) は (大) は ( 秋季演奏會

本 水谷八重子の 大財の娘」を 男腿影、水谷八重子の 関作、落合膨胀時色監督、輪尾形 男とと、大谷八重子の娘」へ、管鳥皺犬、青川唇夫、田邊若 男、根本質、西旋半子主演、角鷹標 の娘」(六巻)助りは一般から脚 の娘」(六巻)助りは一般から脚 来る十一月一日より公開と決つた

キー第一主義を駅す等の口駄を洩れる(保護し離さものありて松竹だ全く保護し離さものありて松竹だ全く保護し離さものありて松竹

E式型はRCA機を採用すること りとして幹部協議の結果版々W、 りとして幹部協議の結果版々W、 公開

テツシャリマショ

小林十九二、筑夜雪子

が 141 の 161 世界 利本七之助監督作品 中光川、谷崎十郎、マル **週刊朝日所載** 大帝キネ時代映画 お國の戀日記 源。到館 松紫美子力資

二十一日公開

正剱風に離る大乗院!



獎を蒙つてゐます、從つ

し價額が低廉なので人氣

の焦點となり皆様方の御籠

寒むさの用心

無料止立数ます 一日より十一月 一日より十一月 一日より十一月 一日のは来る二 でのは来る二

セキならキッ

代金引機は小包料を要し升から御損です既接の御注文は郵便切等で御送金下さい 昔から在来の難ではありません 最新圏県の進歩により生れ出た最 新強服薬です あまりヨクキクので関節の間でも大野部です 意大七十乗」は、さんな戦闘なセキも包ちに治す天下の良楽です (番師用のものは「サンロイド」さいふ名ですが「巻天を中華」こ

しむ人が多くあります 今年は割に雨が少く空氣が乾燥してゐる故か、例年よりせ中で苦

カタルや、観察、肋膜炎等の難一症になって、セキの出る腹に命が かぜを引いてもセキが出てなかく一治り悪く、放つて置けば無常な ゼンソクや、百日ゼキや、肺病のセキ等の極致はが論、チョット

編める結果になりますから、一刻も早く平常をぜればなりません

新時代への進出し お肌を 御園白粉本鋪 伊 東胡蝶蘭

百發百中 かぜのセキでもゼンソクでも セキなら何でも來い!!

加廉級、製質技力タル、服験カタル等の膜、 かぜのセキ・音目ゼキ、ゼンソク、可能、及

**重學、及び配給後、極效、** 

大阪北流壹丁 參天堂株式

洋

さうして皆樣方が比較研究せられた御鑑識の明は期せずして我センターストーブに注 幸ひに兩地とも多大の御好評を蒙り誠に光榮に存じます。 大連及び率天の暖房展覽會に於て皆樣方の御高覽を辱ふしましたセンターストーブは 十六號型は炊事兼用で放 がれました、就中本年新 熱面積も廣く而も他品に比 たに賣出した第十五型と第

足の狀態で御期待に背きまして誠に申譯が御座いません。愈々今囘多數入荷すること て御吹聴あらんことを懇願いたします。 」なりました、何卒此際續々御注文の程をお願申上ます、玆に謹んで御禮を申述べ併 て御注文に逐はれ常に品不

その優美なる體裁よりも

偉大である



新フオードに乗って最初のドライブに行く解問・誰でも之こそ全能力を具備した車だと直感します。 飛ばしたい衝動に驅られます。

その清新さと云ひ・新フオードこそ路上を飾る乘物としてふさわしい新出現であります。

誰でも日毎に新フオードに對して真の親しさを……忠實なサービスばかりで無く・もつと深い愛 着をさへ……増して來る事にお氣付きになります。

御契約と如何に係らず最寄り特約店で何卒御試乗下さい。 斯んな廉價で素晴らしい車はフオードでこそ宜く製造し得るとお解りになるでせう。



大連市山縣通一五四番地

大連モーター・セールス商會 電話八五四六・七六九六番

フォード自動車輸出株式會社



難貨は東洋行ー電話。とこつ

翻佐田弘治郎著

横小 野 非木大

にはなりのが終まりのではなりのではなりのではなりのではなりのではなりのではなりのではなりではなりではない。





できさしまして「人は無常である」 あ方が御座いましたが、何時かの「 を持つ先きに、 である。 である。 が御座いましたが、何時かの「 である。

まる。小野の小町は又歌に骨から 原業では常に於て既に在原業やで でもかいりますれば又別でありま

の動人種に高等ミ下等の

別ありや否や国

類では一片の脱液によって配的の 脱肉、皮膚等によって一層明らか

て椅子によつてゐる人の脛骨はすせのとされてるます。之に既し、離物をきいとされてるます。之に既し、離物をきいとされてるます。とは約人やマ

筋肉、皮膚等によって一

ますが、扁平な脛骨は野獣人に近

明致してみますと、大陸丸いのと

更に骨に附着致してゐまっのであります。

常日の申込高は東京本店二千三百 破縄では十六日豫約申込を受けたが 一概では十六日豫約申込を受けたが 一

商人の取引狀態調

申込成績

京大教授 清野謙次博士述

ますが、此れから考へますと一体。ますが、此れから考へますと一体。

の動き現状でありますから今 ました如く例を骨にとります ました如く例を骨にとります

不となる。之は職業に關係があ ひきつける様になるから自然と届いく、ひどく よくつかつて顕青が強く、ひどくその理由は、特人や車人は脛骨を 提出論文八百餘

愈よ廿九日から開く

國債整理

0

獻金

既に八萬三千圓

近く正式に受付ける

(=)

買收政

深ま

よ

して西北軍の首脳連を買收し谷間に燃みを膨らんとしてをり、去る廿四日以來金質に充態を出ること顧らかである、蔣氏が最近極力間氏の機能的關係を希望し一方政治的手段ともためでもあるが、最大の目的は蔣氏家職に在り、若し蔣氏にして贈く透野ふにおいては耐氏も反義るためでもあるが、最大の目的は蔣氏家職に在り、若し蔣氏にして贈く透野ふにおいては耐氏も反義もためでもあるが、谷町の際館から暇ても中央車の前途悲観さるべき状態にあり、若とは賊職であるが、谷町の際館から暇ても中央車の前途悲観さるべき状態にあり、若とは賊職であるが、谷町の際館から暇ても中央車の前途悲観さるべき状態にあり、若とは賊職であるが、谷町の際館から暇ても中央車の前途悲観さるべき状態にあり、若とは賊職であるが、谷町の際館から暇ても中央車の前途北観された。 時間蔣氏の質的政策によつて馮軍に幾何かの金と地域とを歴 とは脱轍であるが、谷軍の麒麟から職でも中央軍の前途非常 してゐた宋子文氏は點に中央銀行基金二千萬元に手をつけたとなどは以上の形勢を興書するもので 観さるべい 決するのでは無いかと配られる の風相を掘むこ

# 將氏の勢力は尙根强い は戦時狀態

大学は日下何等の異於もな と日清汽船も平常通り就献して と日清汽船も平常通り就献して は日下何等の異於もな は日下何等の異於もな は日下何等の異於もな **心証拠水効課長は上部より**來連し二十六日入職の睾天丸にて天灘駐 一日に天津を出頭、 に不利の様に傳へられてあるが ・ 大だ却々根弧い處があり郷州、 ・ 料量が陥ちたとの報は私は知ら ・ 対機分宜傳では無いか昨日上海 ・ 対機が配った消機上海公所長大淵三 ・ であるが、 下介石氏が

日

**周國工業會議の** 

所縣に跳合し右截金を正式に受付ける筈である 五百六十圓比他各所縣には三萬九千圓あり大職省では近く各 で附して來たものは廿五日迄に内閣に四萬四千圓、大職省に 【東京廿六日發電】國債整理基金に充つべく民間態志家より 重り研究が行はれる、倘之と同時の十二部會を通じ工業の全部門に 工架、燃料學 東るが、支那(機では本年は北浦一 を開議して古黒南省の財政を強型し を開議を決定しへルビン附近の質附を を開議して古黒南省の財政を整理し を開議して古黒南省の財政を整理し を開発を関射に充富する事に

大藏證券豫約 東北政權徹底的に 對露經濟封鎖準備

にも奥地よりポッノ (輸送されては、本特達出極り期となつたので當地は、 されるか非常に注目されてゐる は 地大なものと見られ如何に打開 は 地大なものと見られ如何に打開 の 地震的適出に 混保大豆の

支那側の特産買附 **南満に全力を注ぐ 兩鐵沿線邦商は打撃** 公主儲驛副檢查人

大連埠頭貨物方 研開原體副檢查人を命ず 副検査人を命ず 鈴木 阿安斯 高建

商工會議所令は

態よ實施に決定

關東廳近く奏請手續

獨逸博と外遊勸誘

公主債額副檢査人を命ず 長春驛務方 與 奉天輝貨物方 葉若

及来師副検査人を命ず 長来師副検査人を命ず

職所の手観では最近大陸の成業をも たが「関係では最近大陸の成業をも たが「関係では最近大陸の成業をも たが「関係では最近大陸の成業をも を終る機様であるが石働 を終る機様であるが石働 を終る機様であるが石働 を表るが石働 語所の機能となり後つて現在の低地が行はる」こと」なるの。 地が行はる」こと」なるので公正 地が行はる」こと」なるので公正 を利力、脱速が出来なくなり之に を利力、脱速が出来なくなり之に を利力、脱速が出来なくなり之に を利力であるので公正 を利力であるので公正 を対ける」こと」なるので公正 を対ける」こと」なるので公正 を対ける」こと」なるので公正 大博覧会を開催する由であるが右 は本郷製会及仏教工製味にとり形。 ので外遊者等の利用方につき同園 ので外遊者等の利用方につき同園 | 株立宮藤用器芸術に関する第六回|| 本六月十日から同國新新化學用機|| 本六月十日から同國新新化學用機

減産した

■ 本中佐(天津駐屯軍会議長) 本松本中佐(天津駐屯軍会議長)

裁は七十三歳の老人

株

相氏(補郷上海公所長)

東大連に対する元月中茂橋 本大連に於ける元月中茂橋 本十里の減少である、生産額百二十八 本十里の減少である、生産額百二十八 本十里の減少である、生産額百二十八 本十里の減少である、生産額百九十八 本一里を示したのに依る、上で額百九十八 本である。生産減額百九十八 本である。生産減額百九十八 本である。生産減額百九十八 本である。生産減額百九十八 本である。生産減額0十十八 本である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 をを示したのに依る、生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。生産減額0十十八 本でが来少である。 本でが来少である。 本でが来少では、 本でが来少では、 本でが来少では、 本でが来少では、 本でがまり、 本でが来少では、 本でがまり、 本でが来少では、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本のが、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本のが、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本でがまり、 本のが、 本でがまり、 本でがり、 ・ 近頭はナカーへと連したとの さらだが、御本人は『ナニ、ワシ はそんなに上手ぢやない、聡規春 はそんなに上手ぢやない、聡規春 はそんなに上手ぢやない、聡規春 

ことになつて統計的に判るのであ ります。此の統計方法はお若い方 ります。此の統計方法はお若い方 には続しいのでありますが、除謂 方法を考へねばならぬ。これ Va さに於てその総果は で元されるのでありまして、之に で元されるのでありまして、之に 種類の「純粹度」を知ることが出 を知ることが出 更に或る二種類間の距離を

(II)T=(M-M') 81.

精確遺傳圏から出現すべきにも せんの人類様 Anthropology も

マン では できますと、 山の棚の小では でる 一の を い を で ありますと、 山の棚の小で ない を がる を で がる を で あります。 之は で ない を がる を で あります。 之は で か と に しゃか で ありますが、 今その ー で で の 相 塗は

研究の方法は豊康によ

0000

政権は野部標底結婚の目的を達す一商人から軍艦品を購入し浦鹽に設一関係、自分 膝蓋膈・査を開始した【ハルビン特電二十五日登】東北 るため浦州に於ける外商筋が自國 | 送するを防ぐため自國商人の取引 な、そして之を獣質するのであり は、そして之を獣質するのであり

北八日申込の分を合葉すれば更に 正午申込を織切り繋管にでは十八日 でで中込銀行の日銀に繋する申 とせず申込銀行の日銀に繋する申 とせず申込銀行の日銀に繋する申 とせず申込銀行の日銀に繋する申

通ぎ社 なる四川路二十九號に砂瓶した 戦補難 ので此程上版のビジネスセーター

事の派遣員となつてある機査人ト四名 等の派遣員となつてある機査人ト四名 の定員となつてある機査人ト助キ の定員となってある機査人ト助キ

本物

決定する豫定である 驻日支佛大使 路にあつた事物所が残壁に大連汽船上海が店では從来 大汽上海支店移 豫算復活の要求 四千萬圓に上る

後任決定 東温成替の方針につき製版したが 東温成替の方針につき製版したが 有は明年度豫章編成の骨子とも云 右は明年度豫章編成の骨子とも云 成替へに當局苦心

無限したるものと見られて、 なるに内務省では新くては新 なるので井上齢相は無理ので れるので井上齢相は無理ので は認選事を控へ一概には がしたるものと見られて、 職省は之を承職せぬ方針で 教育費の實施は勿論明年度上るものと見られ、斯くて を なる。 で大

東京に贈ざずとの一覧張りで 医な方針なりし慮既に内容 に隠む方針なりし慮既に内容 に隠む方針なりし慮既に内容 を、簡単各省より豫想は 北満の特産物が 南滿に殺到

電園の回答文製旨に基金磁製研究を保三顧問以下關係者二十名會合者機、財部耐全職、山川、川崎、川崎、財部耐全職、山川、川崎、川崎、財部耐全職、山川、川崎、大田・東京二十六日變電」ロンドン海

太平洋問題調査會の

豫備會議了る

明年は桑港にて開く

満鐵が運輸に大活動

の聯絡會議 ご

本 『ペルピン二十五日愛電』特産物 (ペーピン二十五日愛電」時産物 (水) 「中間」 (ペーピン二十五日愛電」特産物 (水) 「中間」 (ペーピン二十五日愛電」特産物 (水) 「中間」 (水) 「中間

の真織艦としては哈爾賓と大連形 の真織艦としては哈爾賓と大連形 を結ぶことに最も熟心であつてそ 地だけに滿線としても出来るだけ でありを辨ふこともしてあると伊 でありを辨らなっても出来るだけ 院教会学院 東郷の受託職法二十三日より開催 東郷の受託職会の要求として滿 東郷の受託職会とには支障を來さ ないことにならうからが論言を來さ ないことにならうからが論言を來さ ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならうからが論言と ないことにならる。今日

現物後場(單位聲) 11時半 全公 11元至 18120 11時半 全公 11元至 18120 11時半 一 11元20 18120 11年 — 11元20 18120

日本三千年の文化を象徴せる

國語界の太陽「峻言泉」完成す

は親!固有名詞の漸載

商

出來高 柳近七十萬圖

定期後場

『東京二十六日發電』東京地方裁判所判事間運言氏は神田銀行破産 判所判事間運言氏は神田銀行破産 可自設的に別退する事となり本日 左の如く離合を發表された。 東京地方裁判所判事 間 運言 間判事引退

一枚〇数

命リバーブル在動 領事(南京) 岡本 一策 

命退職

一一不一不不〇二後 二二二 九一場 九九七 〇 七五引 行し以て廻く強認の踏賢に頒たんとす、部数固より無限なら文物日また殿守す、此の好機を適せずして一校に、一家に、官衙側2000年で、世に何語の辞書たるのみならず、常に人名・地名辞書、漢和・作文際美を乗れ、は で百科辞書として諸査の知識を整々豊かにすべし。 すして何ぞ! 今や本書の創意たる「難引薬引・最 ・競」とを以て先に種約を設表するや、決両の勢の注文表 ・数を忽ちに突破し、選に申込謝経の止むなきに至り 数を忽ちに突破し、選に申込謝経の止むなきに至り 数を忽ちに突破し、選に申込謝経の止むなきに至り

容見本の情観に依つい内閣上には内容の互相を報

を師職として練習し始めたのだ。 を確認として練習し始めたのだが、それはゴルフ を適度にやるのが、 を可じたが、それはゴルフ を適度にやるのが、 を可じたが、それはゴルフ は数年前外 が、それはゴルフ

振 替 東 京 二三八番 大連市西通 (排込済) 倉 書

**剛 ( ) ( ) ( ) ( )** 

〇不不〇四六七後 市 五五三七場 八五五四引 〇申申〇〇〇〇

申込締切十一月十五日

取級全國書店

場、銀建

地物 安那物 養養物

常態に復す ント引返す

倫敦會議協議

第二ユーヨーク廿五日要電 場は不安に関かれたが手持株を要りに出した爲め商内多々、大際氣 りに出した爲め商内多々、大際氣 が出した主要株は昨日の形式市 の常落のあとを受け本日の株式市

△全卷完成豫約募集▽

文著全總紙數六千有餘以

その他二名を逮捕

簇生す

る吉林

押送することになった

ラデオ露語講座

大連放送局十月二十八日午後七時半

Станція, вокваль. Уборная. Буфетъ. Билетная касса.

A.-何ウソ言ツテ下サイ, 貴方い カ様ガ何處ニ住ンデヰラ

私ハ イツモ 晩ノ七時二 晩食シマス。

一等乘客待合所。

講師大連語學校グロースマン двадцать рторой урокъ.

Б.—Скажите пожалуйста, въ которомъ часу вы объдаете.

A.—何ウゾ言ツテ下サイ、貴方ハ 毎日其時刻ニ晩食ナサイマスカ?
E.—ハイ、私ハ毎日此ノ時刻ニ晩食シマス。
A.—何ウゾ言ツテ下サイ、貴方ノ本ハ如何程デスカ?
B.—私ノ本ハ三圓デス。
A.—オヤ、ソレハ非常ニ高イ。
B.—何ウゾ言ツテ下サイ、何時ニ貴方ハ晝食ナサイマスカ?
A.—おハイツエナニ時ニ零金シマス。

A.-私ハイツモ十二時ニ晝食シマス。

切符賣場.

日窯内

牛乳 なら大正枚場 伊勢町八九電七七七二、九四八四 伊勢町八九電七七七二、九四八四 生土 新糠度物用多少に向げ御 大山通山喜商店 電七二三一番 大山通山喜商店 電七二三一番

防寒靴を注文

の支那

『吉林夏』吉成遠が歌司令部では 北藩國際方面へ出難な歌司令部では で省級各紙店に就し一足の工賞 四十吊文で請負はしむる事となっ たが各店では國防上の需要品だと たが各店では國防上の需要品だと たが各店では國防上の需要品だと

邦文 タイピスト短期養成 大連市大山番 小体又七支店 大連市大山番 小体又七支店 大連自動車練養所電ニー三四五

牛乳 パタークリーム

ラデオは何でも

シンガーミシンは常整掘 電話三五三三番 電話三五三三番

三河町 地方 建成数授章夜

ミシンと審音器は 小鳥 小動物飼料艦 小島 柳島県類一式 常整橋河島ミシン店電六六八四

マ 文 葉眼いし新 だん進歩

婦人病

その瞳を!! (定價)

眼澄んで美人あり

本本株 が東西流通町将田順天営 電話四六二九番 電話四六二九番 電話四六二九番

ラヂ

**薬及治療** 

争木丈太郎 電話四六九二番 ・ 電話四六九二番

電話人二〇三





車電の平北たれさ塚破撃襲

野中醫院

大連市吉野町二五

**等展法總基**(美小冊子)

質衣 多點開

の老夫婦が 仰とであつた、ウイリヤム、ペン に繋がレーン 修教住らしい戦率な都選を述べて すっと ではない、基底に何者か中心的選 を信仰とがあらねばならぬ、迷したのは でもない、 東底に何者か中心的選 したのは でしたのは かんろイスラエルをカナンの地に誘 したのは かんろくスラエルをカナンの地に誘 かんろくスラエルをカナンの地に誘 かんろくスラエルをカナンの地に誘 かんろくスラエルをカナンの地に誘 かんろくスラエルをカナンの地に誘

子 東原町七九番 東原町七九番 大谷商店 東原町七九番 大谷商店 大谷商店 大谷商店

漫連町五丁目二百一番 察ハリ灸専門療院

対 ム 印の御用命は 古野町二六 一馬堂電七八五九 中野町二六 一馬堂電七八五九 小林又七支店 给木丈太郎 電話四六二九番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 帰人 別大連二張町六〇 モミ 療治御好みの方は

次可:特更姓· 大口:特更姓·

電話 しり金融 を変えない

町 『萬堂 電七八五九番

諸貨物運搬 車事業の日の出を御利用下さい 車事業の日の出を御利用下さい 車の出版を御利用下さい

なる概念を生ぜしむ 諸極の観疾を治療し 完全に搭越す。 説力を顕微ならしむ。

自動気限式容器・本品の

薬店にあり

玉龍合名會就

## 至滿を股に 人詐欺を働く

田中男追悼會

總信副事務官六等に榮進し順動す松本率天郵便局電信課長は今回

課主任岩本宗太郎氏が齎

廿五日温率安任 同上

で廿七日午後二時より遷座落成 襲大社数曹所は今回慇落成した 過穀來青葉町に新獅中であつた

蘇家屯から逃亡して 陳相屯に來て捕はる

は官統皇帝の師陳野深氏や康有貴係樂部に於て開かれるが、舞員係樂部に於て開かれるが、舞

を含む開くことになった 下字支計機上に終て第四 では廿七日午後五時から

尚ほ支那人一名の死體不明

大孤山爆發事件

便宜を圖る

小原等一郎(二九)小原等一郎(二九)小原等一郎(二九)小原等一郎(二九) 小原学一郎(二九) 本道二段水泳一段の運動家 東道二段水泳一段の運動家

西濱村大字

開家を貸すときは不用部分となる の取引人協力の所有電話を試一し の取引人協力の所有電話を試一し で一個の名義に切替へ然る後を順

常地公里室側立十周年記念式は 名の行方不明者に難しては別額を発掘作業中であるが、二十五日が要無作業中であるが、二十五日が要無が強されたものらしく今は地震と駆送されたものらしく今は地震となったか交換を強減されたものらしく今は地震となったか交換を発送されたものらしく今に対している。

めに難じて家庭出張作業を開始 脱しつよあるが今川各希望者の

調多物の仕立直し其他で出る事になった、種類は子供

保で料金其他は其都度相談に應ず

社會係の

られてゐる

兒童設備

吉

本内海域は 原の含献表現場げ中であるが安東 方面に警戒に行って居た靖海戦は をに去る二十一日日間としたが本月 では全部引撃したが本月

今日の案内ニナ七日

模擬攻防演習

一ので家庭には要あり ので家庭には要あり ので家庭には要あり ので家庭には要あり ので家庭には要あり 

第二位を際限、第三位を禁花と云輪杖(壁位)と稱し第一位を採売

金森執行委員の

除名を可決

[8]

**3** 

役員は總辭職して改選

人にして子、午、卯、酉の各々じ、其試験量を特に北脚と云ふじ、其試験量を特に北脚と云ふに職ず可き資格を厚たるものなに職ず可き資格を厚たるものな

画面 試験官に路して合格させて賞ふ手段なり、試験官に路して合格させて賞ふ手段なり、試験は番板でよるを以て試験官は本人のによるを知る能はず、よつて本人信答表中に自己の姓名を項には答案中に自己の姓名を項に

窓を有したり)に於ける省城主率。 就にありしものは 實に二萬以上の 国際に合格せしものを 三、施試 に勝ずることを得。 比 八雨を京師なる國子監に祈め、 八雨を京師なる國子監に祈め、

をき可し、是は優秀なる受験域の 関東に於ける関性番雛と呼ぶ一種 関東に於ける関性番雛と呼ぶ一種

言するもの、金に造なるも外に多年 北三人に金花を旅行せ

低に依つて再

新ったが、関氏が何慮姿も固かすが悪事せられたが同年が飲むしたので 世ずして未決のまる散館したので が悪事せられたが同年が飲佐を訴 一氏 十六日午後零時十五分酸列車にて 吉武氏が就任

五世元カラカストの人の他 ・ カラテカスの機 ・ カラカスの機 ・ カラカスの ・

官銃に採用せられたるものなり

大学校を得たるものなり。 のでは、書生は内 ののでは、書生は内 ののでは、書生は内 ののでは、書生は内 ののできず校を得たるものなり。 のでは、書生は内 ののでは、書生は内 ののでは、書生は内 ののでする。 ののでは、また。 ののでは、 のので、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、

金融組合を設立

補助金は五萬圓見當

山中葉 I CIIII) 家庭出張作業

を東地方事務所社會保に於ては今 を東地方事務所社會保に於ては今 が製薬並に訓練に費する目的にて が製薬並に訓練に費する目的にて

安東地方事務所社會係の事業とし

を設する手段にして多大の都受験する手段にして多大の都要が 作文、作評、各種特の要素 のに体験し、数名一處 あるものに体験し、数名一處 に受験の挺を取るもの。 に受験の挺を取るもの。 に受験の挺を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 に受験の歴を取るもの。 しょう はまして変数をある。 に受験の歴書に関係を取るもの。 に受験の歴書に関係を取るという。

撫順農會の紛糾

を期待されるに至るでも。 を期待されるに至るでも。 を期待されるに至るでも。 を期待されるに至るでも。 を期待されるに至るでも。 を期待されるに至るでも。

め五日

ガム葬儀

部に安置され廿四日夜は遺族火友 後は過ざれ二十五日午後一時同地 後は過ざれ二十五日午後一時同地 後の運輸電車に不鞍川に運ばれ火 をは過ぎれたが非償は二十 に大孤山に設られたが非償は二十 七日午後三時州分から郷祭場に於

明治節の催し

新臺子の陸橋

ること」なるので、其後間氏も己ったを得ず就任を承認した由である

を を を を は 二十八日午後六時より 勝堂 に 使 で は 二十八日午後六時より 勝堂

武堂射撃場に於て實彈単生隊は二十七日より **廿五日開原** 華人殉職者の 適能者の遺骸は大孤山俱樂

音林在郷歌人分倉では来る十一月 一三日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一三日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一一日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一一日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一一日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一一日の明治顕常日は帝國在郷歌人 一十年、 一十年 一十年

な葬儀

事務所コー

所西方テュスコートに於て執行された、標底者二十九名の被は正而 に安置され較山實築版會長、地方 に安置され較山實築版會長、地方 下孤山線漸所其他より寄贈された 大孤山線漸所其他より寄贈された 大孤山線漸所其他より寄贈された 大孤山線漸所其他より寄贈された を二時三十分から大孤山然線事が 大孤山の爆發に殉職せる支那人似 り足物遺族及加藤實際協會長。 事務 をなす處あった 手島大和校長に會見し種々打合せ たり山木社會主事は二十四日午後 五、レコード鑑賞會
四、見置英語(山本社會主事擔當
時間は同上) 一、、震話室(毎週土曜日午後三時一、、震話室(毎週土曜日午後三時

其他有志多數參列·L支那導節數名 便支局長、緘田于兩提與公司總理 與公司總理 り発表、懲紙、子冲演氏祭文偶の調整によつて式は開始され夫 ホールを光當する倘朝日校は明年 饗五銭を徴收し質場は安東俱樂部 の間百名四外として會 から開始する計量中であると 職品所持 

左訳を現につき質地指導をして居の原保安主任其他は各戸につきの無質値の据付につき火災津防の

はれ盛大な開館式が擧げられる複 様であるが何分にも大規模な建物 はれ盛大な開館式が擧げられる複 様であるが何分にも大規模な建物 はれば、大規模な建物 は相談、一般であるが何分にも大規模な建物 は相談、一般であるが何分にも大規模な建物 は相談、一般であるが何分にも大規模な建物 は相談、一般であるが何分にも大規模な建物 は相談、一般であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物 は相談であるが何分にも大規模な建物

婦人護身術

一、火災の虞ある國際に帰爐を据 五、接觸箇處は不螺物を以てする三、類突の取付を完全にすること

な勢力を要するので出五日午後一 時から地方事務所に於て減鏡各箇 所代表着相将り継管方法に認ての が成れた。

藥劑員後任

は、破損火は破損の成あるものを 使用せざること 力、抗及煙突を完全にすること 力、抗及煙突を完全にすること 先端は軒様より三尺以上突出 

監察事件に方り支那新聞級が開設とはして、 を日支經濟に結びつけて振日の野 を日支經濟に結びつけて振日の野 が料とはしつよある幾多の支那紙 が料とはしつよある幾多の支那紙 論評飜譯刊行

▲洪水猛獸的の共産黨を除去すべ

る露園を打倒

養蠶業 **貔子窩** 

園も改善 大孤山の大孤山の ▲東支鐵道の無條件回收を實行す ▲中國々民黨の革命外交を堅持すべし

第四回滿日勝繼基戰(湯清氏一回)先相先先番當武喜二太氏第四回滿日勝繼基戰(湯清氏一回)先相先先番當武喜三太氏

海流 は二十七日 疾無を 機とし二十八日 は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は無暇高女の は上十九日は 水安水 できると、時間は 下日とも 午後一時から こ時まで一般に 無粋間放すると 二十五日午前二時より大陰までの 一黒瀧こと大瀬州平(ミ)万に泥線が忍び込っ書音瀬一葉時側五十側 が忍び込っ書音瀬一葉時側五十側 での他掛時計等合計百圃のものを 黑猫の盗難 第7天物方 大連市市级町三九一日三丁四 花花三〇四五香

秋季招魂祭 本溪湖

二十七日十四時五十分 来開直に満兵隊の歌駅を設全し二 来開直に満兵隊の歌駅を設全し二 を検査し同日午前十一時五十五分 愛特急にて緩戯に向ふ筈

戰國射擊演習

大々的に宣傳

原

抗露大會中等學生の

ら十八日迄三日間十八年記念夏出途陽本町の梅田吳服生なかと日か 記念質出し

あつた

遼

陽

漁場を開始では左記日棚に依 ↑ 海門を開始では左記日棚に依 ・ 一月一日百山射撃場に於てし ・ 一月一日百山射撃場に於てし ・ 一月一日百山射撃場に於てし ・ 一月一日百山射撃場に於てし ●二日から七日迄同晩作乗場

勝山校長襲はる

ル强盗に

現金時計等を强奪して逃亡

大官橋附近の路上で

激を歌人動ではする月間で 在郷軍人總會

間に問

## 是於B實際其其其



(五)

是非とも流行のとませ





城市東城京灣二丁目 松 下 善 商 店 城市東城市等

無替大阪六九三七二番 旅 竹 商 店

トミヤ河井商店

關西代理店

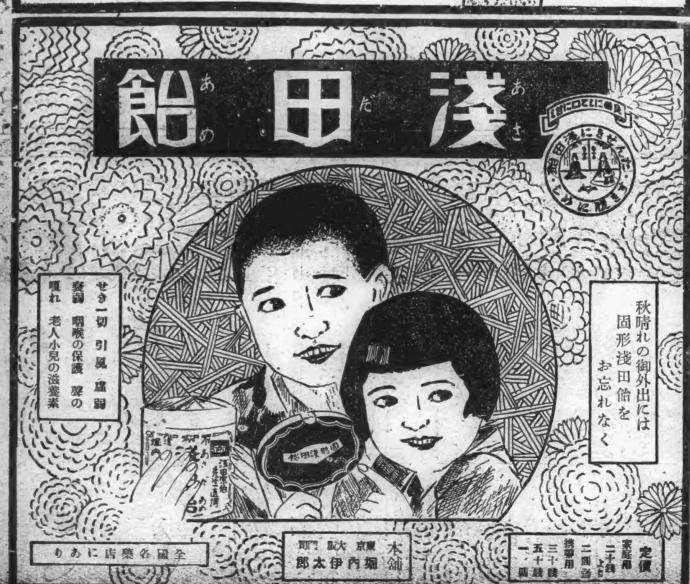


錠劑と粉末、全國知名藥店にあり。

**科** 六 取 市 道 修 町

**食靴神戸衛生實驗所 食紅武田長兵衞商店**  急慢性腐力タル、酸酵性下痢、消化不良、 急慢性腐力タル、酸酵性下痢、消化不良、 ・ での他自家中毒より来る慢性腎臓炎、動脈硬 ・ の他自家中毒より来る慢性腎臓炎、動脈硬 ・ の他自家中毒より来る慢性腎臓炎、動脈硬 ・ の他自家中毒より来る慢性腎臓炎、動脈硬 ・ の他自家中毒より来る慢性腎臓炎、動脈硬







腸消化

起表を作ってやるやうな場合機器目や附木の如きは、時に

なって

を 直る前に一般的な出意を

の配管孔を充分に注意して開鎖する配管孔を充分に注意して開鎖す

のあるものにし度い。土足の

お事所の區分

の原先がお薬所を減られば、着きの原先がお薬所を減られば、着き

版家庭向きのものに止め度い。 田來得る事なしていた。

ので、ことも認め、下水・鉄にお部所の排水孔は

を踏みつけたか舞らぬやうな土屋 を踏みつけたか舞らぬやうな土屋 を踏みつけたか舞らぬやうな土屋

遊に就ての一

タイル等にして

見りの中央公園の花壇

衛生的な

お臺所の造り

小家を造らる」ところも悪くない小家を造らる」ところも悪くない。

語が表示を表示している。 を表示を表示を表示という。 を表示を表示を表示という。 を表示を表示という。 を表示を表示という。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示となる。 を表示を表示している。 を表示を表示している。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示といてものである。 を表示とないてものである。 くなる。別して自ら融くべく形徴 郷を生じ降蝕して歌に用をなさな

結婚費が多すぎる

違ありませんが、それが必ずしも

もその

イフ太國より直輸入せられ改良に 改良を加へました結果本年の九月 中九日に接管管がありました出犬 を見まするに在來種の青島シェパ を見まするに在來種の青島シェパ

す

分けて命令に從事する犬でありま

で、此の結婚数を半分にしたにし に金で得られるものではありませ

社會局調査の各國との比較

本かな式、が出来ると思は 本よ時、総ふく被解までされかける極公私經濟の行きつまつた日本 としてもつと徹底に胡麻式を育ま すが臭いと考へられます。でなけ

であり、最も攀やかな事件には相すまいが論結婚は人生中の重大事めに使ぶが賢明と云はねばなりま 居ります。之等の事を考べると登年收の二割丈けを結婚に使用して して英國ではさすがに年收の八郎 用して大部分は結婚後の入費の るにしてもその一部分を綿漑に使りませら結婚の爲めにお金を貯め もつとは婚費を節約する必要があ之國で借金國の我が日本では常然 へがせいん 馬鹿はしと 上のだ 然は煙突

國民性が

地犬の特徴は個人の飼 は我が家を守り主人及び は我が家を守り主人及び 立派な犬になりま

的性質を以て居る犬でないない。 人には忠實で絶法服從す

職用犬としては斥候、 「本財人の意味」 「より凡そ機性的精神を により凡そ機性的精神を により凡そ機性的精神を 

類に難し多大の質能をなすは此大 をなす他大の到底及ばざる野と機 をなす他大の到底及ばざる野と機 をなす他大の到底及ばざる野と機 をなす他大の到底及ばざる野と機 をなす他大の資底及ばざる野と機 の命なら水火の中と斃も 此犬の種類は我々日本人の氣質

間を流れゆく属のストリュームレー 間を流れゆく属のターニズに供合はない。 ・が歌ふ所のリバイバルソングの ・中では、日曜要校などと が歌ふ所のリバイバルソングの ・中では、日曜要校などと には、日曜要校などと には、日曜要校などと には、日曜要校などと には、日曜ので 現味の中で聖歌に如くものはない。 地味の中で聖歌に如くものはない。 地味の中で聖歌に如くものはない。 地味の中で聖歌に如くものはない。 であるこの心々を慰めて果 がは各間性の持つ多岐多機の に変 ひろごり行きてはたゝずまひ勝ちットに過ぎない、此間に介在して

▼早い語い、疾疾病は實に人間 の息の管を止る病気と云ふ事が 一般な。何が恐しいといつてか 出来る。何が恐しいといつてか

がからない。 が何に健康な人でもこればかり は中々助きやうがないのでもう

▼然るに世の中では紫外接暖職」ある。

をなって生きてるる動物 気を吸ふ呼吸機能 であるが、その空 であるが、その空 であるが、その空

等實に認ろしい病気が多いので を表がけても、概念、放便炎、 無だけでも、概念、放便炎、 無だけでも、概念、放便炎、 が要カタル、縁要祖、県頭総被 が表がない。 が表現れ、 になるがある。 が表現れ、 になるがある。 になるがなる。 になる。 になるがなる。 になる。 になるがなる。 になる。 になるがなる。 になるがなる。 になるがなる。 になるがなる。 になるがなる。 になるがなる。 になる。 にな

たんせき、ぜんぞ

たそがれの雲間に『五穀のみのり」の壁隙を二、三行総込みます。 響のあさけ夏のまひる 一様のゆうべも、いそしみまく 世は在窓のリリアン派にある金茶

▼言ふまでもなく、人性に最も 直接の関係を持つ病気といへば 直接の関係を持つ病気といへば

▼ では、 との では、 この では、 この では、 では、 変し、 では、 変し、 できない である。

る通り、たんせきぜんそくを んじて、後日思はね病気の厭性 ので、威意味では発んと概論を ので、威意味では発んと概論を ので、威意味では発んと概論を

をの治療を手張れさせて一生取り返しのつかぬ重病に関格らせ

人間は空氣を吸つ

如何与病氣上變症計

送人作

新青午型

痰咳喘息を捨てる置と

此の名葉によりて 婦人病を治すにも

龍角散需用の季節來る

たんにて常にゴホ せき類りに そくにてゼイゼイ息切れにて常にゴホンゴホンと 眠り れする 兼る

か

出て 起るた

「学り、「なきせき出づる人」 日せき又ははしかぜきに難氣の かれ 交換は 0 た 兒:人:人:人:人:人:人:人

全 國 各藥店 K 有





表現したまので 八人村だ!如何に

婦人回報卷

モグー

ン夫人の雑誌化

一年之友 好水彩仙

はつ

保健。鍵

H

夫婦圓滿の鍵も亦

此れです

美術家の苦心

なしマイエでも

物質文

支那では年收の三十種を使用する にしても二額の差がある丈けです にしても二額の差がある丈けです

男りを見ても東洋では一たいに襲大な金を結婚に使用する事を示して

の松空を何る

アミモノ石種のうち 婦人者界、特解

白然小藝術

に使ふ爲めにお金を稼ぎ貯めると

避苦享樂は社會の自滅

潑剌な青年意氣が必要

文學博士 瀧澤

(六)

ある。其の血の湯る『其の意氣の 腹利たる意氣を振し、そして其の 酸剤たる意氣を振し、そして其の では、それで其の 護何ものも打ち挫かねばなら 

に陥って彼我と 經濟國難 る。斯くの如くして人生しものである。

結婚亡國の

いろり 護羊犬の話 \ な役に立つ

居る犬の組先が即ちそれ

い情島の事で同族沢身血族の関係ましたが何分新種の輸入がなく狭

られてある、文字通り子 ちよつと目先きの變つた

子様の歌ない申分ありませんの

火鉢の火を

保たす法

日下社会議で佛式機械期

佛式機械刺繡

古(番)

餘滴

一名貴島シェパードドラクと申さ

簡易なものだ。

ドイフでは此種の犬で選羊犬と 電子 タが非常に不足をして東たので カルル しばめ 原本園に此シェパードドッ しばめ 原本園に此シェパードドックが非常に不足をして東たので

此犬が幸ひにして日本の近き東

ク」用として使つて来た認めド して古くから「シェバードドウ

枫子犬は公職の許可して居た様での交渉して来たものは二三間位の

銀座の方へ照前したら、本を見かけない、最も、本を見かけない、最も、 先生のがあらうと思ふ、

は器具を今少し丈夫にして意識のしても、物にするか優を最う少して して欲しい之は獨り私ばかりの提い、物にするか價を最う少し安く

何にして

秋も年を過ぎて思さが増して

蠣灰と藁灰

一度順か演奏記をやる。魚貝類は 一度順か演奏記をやる。魚貝類は りも、撃ろ外部との出入口の一部 貯蔵等期の「流し場」と消滅 野蔵等用の「流し場」と消滅 が表現する。其位置は貯蔵等内よ 

百

0

効

よみ試ず必は人る

**漁艦するだけにして剛運船に持ち**あらごなしをこの疣布場で行つて 通の家庭の

出来得る事なれば小室でも良いから、貯蔵室として一盤が欲しいから、貯蔵室として一盤が欲しいは出入口は二つ設け、その一つは大部で動産との間入口に設け、 は大部での外部との間入口に設け、 は大部で動産との間に置く。

のくすみ勝ちな楽色もリリヤン糸にはない、御夫婦の上衣、

をパケツに二三杯かけてから使用使ふ前に機に入れた際にして鵬水

州二十六二 五十三日日 日日日日 切分分分分 津 村順 伍金武宝五

六四十八四

++

V 十五日分分分分



二週間織けて服用すれは其動果職業なり(他如何ほど頭周なる事要器疾患のたんせきも凡そ 本 舖 藥劑師

る事で

滿洲醫大氷滑部

着々その計畫を進む

悩みは經費の捻出

が、工事の實力又侮るべからざか事實上の優勝戦と見られてゐ

肥立ちで御附重も著るしく御殖え遊ばされたと承る 地度き御床拂を遊ばされる。當日は御床拂になると直に 天皇陛下と御味通御快拶を遊げる 化度き御床拂を遊ばされる。當日は御床拂になると直に 天皇陛下と御味通御快拶を遊げる 化度き御床拂を遊ばされる。當日は御床拂になると直に 天皇陛下と御味通御快拶を遊げる 全滿ラグビー選手權

大連運動場でけふ學行 見物は工大對滿鐵の准決勝 を得んとしてゐるらしいが、略情

戦法が 卓球大會組合せ 個のダークホースと

となるのであ

鎌 A 4 (工 場 とをもつて相撲ち相職が第五回明連 商業 3 (電 線 B 潜人差がその凝る、健康と隣る力が表の表の表の表の方面を明月間にて開 【東東特電二十六日表】全日本の

秩父宮の台臨を仰ぎ けふ莊嚴な入場式 ト神宮競技の火蓋切る

日午■九時から明治神宮外苑野球 に編し米順前内海長官フォール氏 れたが後等は主として列場に於ける閉館式を以て職ひの藤 は石油炭の大立物ドへニー氏より を襲つてゐるものであるは切つて落されること」なつた。

各圖書館が

讀者に奉仕

支那民族資料展覽會や

十一月初旬を期し全側には何れも多性を極めて 加を開催しこの好時節を有意 古本交換會計畫

熔鑛鍋墜ち 機期してゐる。 五名死傷

御退出

前米内務長官

前九時より

| 神里野の適用なき道路の取締|| 万谷民政署(支)長に劉し荷単取|| 神田内務局長は十五日附を以て州

中央公園武德會弓術道場 共同丸新造の第卅六 來月初旬就航

買求め下さ

刑辱知各位に謹告仕候也執行致候に就ては御參會被成下度此年後四時より殉職者記念碑前に於て山に於て殉職致候に就ては明後二十四に於て殉職致候に就ては明後二十四十級裁室勤務職員後川柳作本月二十四

・全國一流の店で販費されて居りますから。おう順等に到る近、數字是款式の『ボルサリノ欄で順等に到る近、數字是款式の『ボルサリノ欄で順等に到る近、數字是款式の『ボルサリノ欄

体能力で働くものと言葉には頭が 総て神戸川崎造船所で造船中の阿 後共同汽船館戦の三十六 共同丸 (一六○○順)は総々竣工し來る 二十八日受機を守するが、夾月四 日大連に曳航し來り初旬より青島 日大連に曳航し來り初旬より青島 大連間に就続すると。なほ船長と して島木財三郎氏が就任の豫定 丸が入災する間定郷船として代航水航するが乗月一日よりばいかる水航海を戦せて神戸よりないかる ばいかる丸入渠

信濃町

日満連絡下り機

裸體身で働くものゝ尊さる

**犧牲者哀話** 

八知れぬ苦勞



孝宮様はお見事なる御肥立ち

不電一勝用度、中央試験所出度、中央試験所出

伊原氏に あり之を一緒し且つ脱眼者を歐面 あり之を一緒し且つ脱眼者を歐面 あり之を一緒し且つ脱眼者を歐面

表する席に依れば反脈革命運動首領がリゴロウイッテ兄弟其他の首領連は魔服したが後は北コーカサスの未開地域に立て脈り「イネアラウイチ「なる宗教原體の假面の下に白露鳥人の電脈(コサラク及び地方が民からの電脈(コサラク及び地方が民から)むが各種が行環 線の反動脈管で前帝政時4 線の反動脈管で前帝政時4 府は又同

行される管

あるので起訴論でとなる模様であなが、他でもあり記録から上の事でもなり記録が、上の事でもはない。 これたが破破 秘書官中島郷郷大氏は二十五日午 官邸でピストル容確を放つた首相官邸でピストル容確を放つた首相 中島秘書官 起訴猶豫されん

永保ちのする

最近酸しくなつたのを悲観して右帯堂に収容されたが。原因は約五年前よりの悪性の花郷減と登出のため妻随氏に逃げられ密髪開始當ため妻随氏に逃げられ密髪開始當 し苦悶中を同居人に選見され宏満には廿五日午後九時ごろ阿片を嚥下 市內欄立町一〇靴修埋潘正總(三) 靴修理が阿片嚥下

道路を壊す

水儿

永原小兒科醫院

大連南山麓柳町三二〇共産住宅 《全滿米穀同業組合御中

貴組合米 穀檢査證票ヲ 私用シ檢査米ノ信用ヲ 損傷致候段誠ニ恐縮ノ至リニ御座候自今如斯 行為ハ斷 ジテ不仕候事ヲ相誓ヒ此 段紙上ヲ以 テ謝罪仕候 ペカロ 年十月 大連市紀伊町二十七番地 大連市紀伊町二十七番地

日本各 シベリヤ帝 東京風菓子謹製 地名産 图 酒 告食 00

プリガル

銃器密輸は今後

體刑處分に

法院も愈よ嚴罰主義

賄賂を受けた臓で有罪を言渡され

事件にて計五日盛曜時方数判所検 事局に於て七時間に重り取謝べを 事局に於て七時間に重り取謝べを 事局に於て七時間に重り取謝べを

大彈壓

大連市では本年度入營者の爲め來

微をとそり、所・ 連続を場以外、(内地其他)で接兵

一次では、 一のでは、 以家政婦を求む

- ホテル支配人談下さい

祝賀會も行ふ

用に耐えざる妖能に破滅せられて使 をも施工後直ちに破滅せられて使 をも施工を直ちに破滅せられて使 の御路は荷里収締期が適路を除く外。他の都 が為め時態道路・一般では後米版大学。 が為め時態道路・一般では、一般では、 が為め時態道路・一般では、 が為め時態道路・一般では、 が為め時態道路・一般では、 が為めたが、 其の場合は、 では、 が為めたが、 は一個では、 が為めたが、 は一個では、 があるしく では、 では、 でもれて使 の知るは、 でもれて使

外。他の都

平田の全店品を擧げての値段比較御奉仕大康賣御立寄り御比較を御待ちして居りまれ、 粋な銀器 こスポーツオップ 金製品及ダイヤ寳石指輪種々、土佐古渡珊瑚駅米各國優秀時計、斬新たが不上佐古渡珊瑚 金屬計 直輸入 な流行貴金屬

に 自午後〇時三十分 ニュース 自午後三時三十分 ニュース 自午後三時三十分 ニュース コース コース 東部 不坦園な玉上佐藤尚 三、詩吟『伊藤公作詩』池田夏楽 四、「膵臓提替『伊藤公」、正派、 橋藤

のだ、この演船は三千幅級のカー を実入れの姉妹船があつてこれは例 を表えれの姉妹船があつてこれは例 を表えれが急行表別に借つたも のだ、この演船は三千幅級のカー

高る、そして豫備船として大連丸 三千順には四隻、それ以下に叫隻 三千順には四隻、それ以下に叫隻 一里・一順には四隻、それ以下に叫隻 一里・一順以上のものに使用する

ブームのワイヤーが切れて頭に落ってヶ濱船で緊船作業中の支那人が イッ湾船で緊船作業中の支那人が 未だ耳新し て人階船にをかから投げかい て人階船にをかから投げかい

総して緊留中の婚組も続こまつて 関がピウノく吹きすさび白冠は間 風がピウノく吹きすさび白冠は間

下無数、明書骨をメナブームのワイヤーが切

たりてる機な事と



一般は、大き、は、大き、は、大き、は、大き、は、なくした、は、なくした、は、なくした、は、なくした。 は、なくした、は、なくした。 は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、な

・ 通信家の例に照し査定の百分の一 ・ は後は毎月十日流・続付する機 ・ は一回の観視師はドー月ー日途と ・ は一回の観視師はドー月ー日途と

一度に三大臣

と例の関きを見せて買ひたい。

打寛いで歓談帝大廿八年組

代、必要であるかも知れゆ。 を使の思ひ出などと継載するに を使の思ひ出などと継載するに

◇あるかも知れぬ。

大地もまた緊痛緊張の世界たらん 北周浙蘇、多まさに來らんとす

で、黄塚の漫画な無りが今朝は

リニナ三日附一般に布告した。所が 新税目を設けて鉄米飽くことを知 新税目を設けて鉄米飽くことを知 の 要は高い

一本ふので

#Fをとつて会職しつい院院を上へに並んだ守衛実体の社員に一々へに並んだ守衛実体の社員に一々

倫敦神議の

原東京二十六日愛電」総理大臣の所に主義(戦の)の別のでは二十六日愛電」総理大臣の所は二十五日午後六時より就出ークに主義(戦の)の別会を開いた、地まる職に三大臣を開格しては主義(戦の)別句を開いた、地まる職に三大臣を開格して、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、特原、傾の三大は主義(戦の)別句、対域の一大の関係という。

天氣豫報

# 000 # 000

經費緊縮

いて新聞の新聞班

ドン海取納職機器をして外

けさのうらる丸で元氣よく

官民多數の出迎へを受けて

速に順総を行ひだ色の態色軍も耐大政府支持に傾いて居の西北軍はジリノへ引つ込む外なしと見らる六分政府軍に勝味を見るに至つた、卽ち中央は兵力金力充分あり西北軍の連絡べ充分なるに先立ち迅容益々魃ひ形勢は耐く西北軍に不物に貶開して来た複様である。情報を綜合するに勝軍の優勢は四分容益々魃ひ形勢は耐く西北軍に不物に貶開して来た複様である。情報を綜合するに勝軍の優勢は四分官と上海廿五日發電】河南、湖北に大進出を期待された西北軍は其後行動設活を続ぐに反し政刑軍は陳

政府軍側に六分の勝味

(任を果す

が、是非さうして頂きたいに、 たれは力の問題ぢやが、此老骨 では何も出來ぬよ

田職館頭等市内官民有力素多數のしの自動車にて滿簾本社へ向つ選事、部長其他田中民政署長、飯一出迎へ終表を受けた後。滿葉等

社業の發展には

る今日は何等の用意もない滿 のものもあることで訓示の必要 はない答だ、社員一同から下ま で協力し、滿線の使命を徹底さ で協力し、滿線の使命を徹底さ

と議論。重役の契約はよう無いさ

際に、満洲は暗いから明るい実置とアッサリ答へ、絶滅は御赴任のとアッサリ答へ、絶滅は御赴任の

年も前に確立してる

を不通ならしめ支那の回敗運動に復讐せんとしたものである。連鎖者は更に芋婆式に檄掌される極々死骸で本國より器に搬入した爆弾を秘密側に東線沿線の同志に配給し松花江大無側を破壊して東支線に赤色陰謀側首謀者メルツアロフ以下二十五名を逮捕し目下破血泉戦中である。一味は時候取入の決に赤色陰謀側首謀者メルツアロフ以下二十五名を逮捕し目下破血泉戦中である。一味は時候取入の決《ヘルピン二十五日皷電》支那戦官憲はロシア戦事能内に潜伏してゐた赤色テロリスト二名を皮切り

兆総氏を偏偏せしめ間民航左派と配線山深と合派した全支的戦立内間を組織せんとするものよ何くで改造を行ひ改組派と提携する計畫だと脱額した由である。即ち氏の政府改革総は圧が昨日館見した英國領事に続し、今年中に西北軍を平定したる後、中央政府大《上海二十五日登電》等代荷氏は青煌の浦口行を中止し南京で統西北京戦事につき采載を振つてゐる

からでなければ何ともいへぬぢまた。 また之から慎重に調査研究してまた之から慎重に調査研究してまた。 ないのでなければ何ともいへぬぢ

て多くを知らの間に、極々に論

百州や鴻磯関係各省の大臣に「

東支鐵破壊陰謀の

?」と自ら進んでポーズをとつてが勝る 時等『之で よか、どうか

勞農決死隊を檢擧

沿線同志に

爆彈配給

等の機等。 学の機等。 がで各種機等。 がで各種機等。 がで各種性機等。 を受けた。 学の機等。 を受けた。 をでした。 をでした。

〇午前十一時過ぎ藤井秘雷役、郷

情機解職の大学丸で登伍した 「東京二十六日観賞」新ニュー 国

澤田總領事赴任

**M東縣總信事務官** 

中屋園太郎

新勢農黨結黨は

一應承認の方針

和技術等

【東京二十六日

寄木

共産分子あらば解散

従来の総裁は、

赴低に際し。

されるのを機會に國策を確立されるのを機會に属力を強動してあるが、日本の議会の策してあるが、場場に就任

改組派と閻氏系を合流せしめ 全支的聯立內閣組織 を斷行

無理

せ

ぬ事が

のが例だったのも今度は

有志識と色々優響談を交し「我 といったか、人間は無理をする くなつたか、人間は無理をする

などは駄目だウキスキーだく

主治野が、

在的

の長壽法

てゐるより一日も早く低地へもあつたが『内地でグズくへもあったが『内地でグズくへ 歌、何しろ七十三 歌の老職とて病徒 歌の老職とて病徒 数、何しろ七十三 (大下の御意見

とする気悟で、縁載に就任し、満州を頂蓋の ※加は大嫌ひで、今度赴代す ※加は大嫌ひで、今度赴代す 感心してるたさうだ 感心してるたさうだ

んだ土地とて、船へ勝戦に来た 郷縁が九郷社長時代に十年も住 郷縁が九郷社長時代に十年も住

社から門司あたりまでお出述といった歴で、従来なら満郷といった歴で、従来なら満郷では誰も要らぬ、君一人でよい時でも総島秘書役に「随行など

虚禮の歓送迎は大嫌ひ

無ちの漫談に、今間の思出話に おりました水谷浦暖新聞や彫本ちらる丸 た水谷浦暖新聞や彫本ちらる丸 た水谷浦暖新聞や彫本ちらる丸

最明寺式の無微じな旅 を中の似石を数は整たり起たり を中の似石を数は整たり起たり 

に は で は で から で は で から ない 、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 御 吹 で 今で も ない、 は し 皆から 間 吹 で 今で も ない な に か と は か と か と は か と か と は か と か と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と は な と

▼・・「 表演御戦任金峰、どこかの ・・・ 「表演御戦任金峰、どこかの 思へぬとかますは出来ね」と感慨無量である比較だ。頻繁しても直ぐこから比較だ。頻繁しても直ぐこから比較だ。頻繁しても直ぐこから比較だ。頻繁しても直ぐこから比較だ。頻繁しても直ぐこから比較だ。頻繁しても直ぐこ

来てゐなかつたからな」と懇談 を楽けやらといふやられ話があ を楽は鉄道についての研究が出

「スメーニ十五月変素」 学大統領 ツーメルグ氏は急遽合派首領と協議の上 た、氏は急遽各派首領と協議の上 た、氏は急遽各派首領と協議の上 ある

デ氏に組織命令

【南京二十五日發電】國民政府は 本日交通部電散公徽二千萬元發行 の件を決定した。 偶透期配十年利 の件を決定した。 偶透期配十年利

電政公債 一千萬元發行

を眺めながら「我継がめた三十を眺めながら「我継がめた三十を眺めながら「我継がめた三十

いな。モッと活動せい」に有

國民政府の

\*:門司の瀬中が是非上陸して市中を見て戦きたいといつたが、

赤坊用毛絲編物 

女兒用毛絲編物

教員養成所生豪集 教員養成所生豪集 教を以つて設表の筈である

、寫真と共に編方まで詳しく簽表しの他一切の。女兒用・王林編物の新理の他一切の。女兒用・王林編物の新理

男兒用毛絲編 いる――な新型で繊細物が製造があられたにも大きいがちやんにも大きいがちやんにも大きいがちやんには、一般のはでしたが、一般です。

女學生毛絲編

が一番調和します。『主婦之友』十一月が一番調和します。『主婦之友』十一月が一番調和します。『主婦之友』十一月の一次學生時代の冬の着物には、毛絲體物

元無な建設は中央のソファーに倚 と、 代度の、だが動義の読れも見せず りながら、肥着酸と貧見したが

網島秘書後を随へ豫定の如く廿六 の大任を5受けた他石溝線無規は の大任を5受けた他石溝線無規は

新聞漢信回者は直に上町板の奥燃 響談長、農井和客後、石本市長、 響談長、農井和客後、石本市長、 の大平純豊町屋駅、山崎文

日朝来波浪高きため同船は港内朝入港のうらる丸にて管連した

仙石總裁を跡ひにした一

(日曜日)

歌か歌扇長、大説理事以下清養各 十分上陸し、埤頭特合室にて 中分上陸し、埤頭特合室にて ・中分上陸し、埤頭特合室にて か社 内とかを 問ふ必要 はある をんた事は考へてをらぬ、理事 に候員のあつた場合は適任者を に付しるが、必らずしも社外と が、必らずしも社外と

新總裁を迎へて

明る

氣分漲る

その日の満鐵本社

佐分利公使

他石滿鐵橋藏。 無事難任。

大觀

小翻

きのふ青島視察

◎斯で中央大支縄正面の時間の時間の計

十九億億を規定し省政府の沖穀を一十九億億を規定し代数に機政院服務、注章程

借家稅徵收 吉林市當局の誅求

長)二十七日九時間量行にてへ ・一次日出帆の大浦丸にて上海へ ・一次日出帆の大浦丸にて上海へ ・一次日出帆の大浦丸にて上海へ ・一次日出帆の大浦丸にで上海へ 古仁所變氏〈奉天滿緞公所長〉二 七日朝來連の答

在住外人からも

▲宮田興數氏(極東遊報社長) 同人)同上 ▲臨田ナラ氏(闘東軍經理部長夫

新編ほど男子の客ぶ物はありませぬ。 大評判です。心を取めてあみ上げた毛のきの毛絲綢物がいろ (一般表されて) 大評判です。心を取めてあみ上げた毛のでは、

で演響の 待子に 着 施、 歌を紹介とば打手機に低石線域は本日御安漕になりました。 「無裁は本日御安漕になりました。」 「無裁は本日御安漕になりました。」 「無数と紹介とば打手機に低石線域は本日御安漕になりました。」

仙石總裁社員に挨拶

協力一致が必要 充分意見を聴き事業遂行 和見せである、宜敷くお願ひす に下を問はず穂で充分付合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はず穂で充分打合せて 上下を問はずむである。 紅葉器展 の所以だ。ワ

では、
 では、

 では、
 では、
 では、
 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

▲田中清子氏(田中民政署長夫人) 同上廣通 同上廣通 原上廣通 原上廣通 ▲仙石賞氏(高橋) 本介光太郎氏(同橋) 本介光太郎氏(同橋) 本介光太郎氏(同橋) 本介光太郎氏(同橋) 本のすらる気にて魔連 任間東應技師(大等)

婦人用毛絲綿

のよい新型を御自由にお選び下さい。
たも適する最新型の毛熱調物がいろいたも適する最新型の毛熱調物がいろいたが、温かで恰好

目

日

船會社に及ぶ

影響

商船内地航路のお客さん

メッキリ減少した

成の所持してるた学版一巻を情報 したのに基いたもので、金を討魔 したのに基いたもので、金を討魔

である。 孤人等もである、孤人等ものところ不明であるのところ不明であのところ不明であのところ不明であのところ不明であのである。 ないのでは、 このでは、 このでは、

素玉(こ)は二十五日午後九 佐渡町一八津上警七かたポ

の食糧がないのでき

=

本の苦情は一緒されるものと見られても少くも記宅館當てに難する從れても少くも記宅館當てに難する從れてしまれない。

えて來た體です一、二等の客はがとの十月に入つて急に目に見

航路の調査に向ったまト消息が絶 で換による貿易をなし間月下間、 を換による貿易をなし間月下間、 がある。 えたが二十五日配館に入港した。一は大に無遇はれたと 海賊の申立と

金があはぬ 何者から上前を刎ねたか

怪しい免職火夫

洋服一音・ならしいと云ふの

軽見さる

選に行き同人要用シ所有の物とビ 工羅紗商三枝久一かたへ高物の配 工羅紗商三枝久一かたへ高物の配

煖房の奥に際匿してゐたが家人に主家の現金十八圓を鄧収し地下家

八圓を窃収

地先で強調された

有の縦サージニ揃ー齎ほか四脳時 有の縦サージニ揃ー齎ほか四脳時 ではないは二十五日齋藤所

ン時價約二十四を窃取

乘船券を取上げ

升水出に輕手が一レカスイラの上最

苦力の無智に附込み

大連丸の船員を装ふ支那人

所に賣却

1 イ苗茂恒("o)は二十五日瀬藤所山縣通り二〇元瀬藤太郎次かたボ

に押送され目下池内検察官係とな に押送され目下池内検察官係とな に押送され目下池内検察官係とな に押送され目下池内検察官係とな に押送され目下池内検察官係とな 岩手縣疑獄 と語つてるた の関係から

現金銀 大洋一圓銀貨で

殿重な収測べを

口つてあるが、

本の大事實を結び合せ何者か をした事實、水上層所屬整理 全した事實、水上層所屬整理 全した事實、水上層所屬整理 会した事實、水上層所屬整理 一日は背時の監視るを確めこの間何 が形態々来達し水上層所屬整理 一日は背時の監視を確めこの間何 が形態を来達し水上層所屬整理 一日は背時の監視を確めこの間何 が形態を表達し水上層所屬整理 一日は背時の監視が設長現内被音時の緊要 が形態を言三好電大、當時の官房 が形態を言三好電大、當時の官房 が形態を言三好電大、當時の官房 が形態を言言を結び合せ何者か 各地より召喚取職たが、更に底要 なつた事實を結び合せ何者か 事局は見島元岩手町有計談長の公【盛国二十六日愛電】盛崎地方般 丸茂前知事を再調べ 丸茂氏は二十六日も再興べを受け ることとなつてゐる、香収盛職地 方裁判所被事正は二十四日(城歌に 方裁判所被事正は二十四日(城歌に 日曜局した 中華失した巡行王書文の緩帰院時一中華失した巡行王書文の緩帰院時一一架文惠かた荷車夫楊仁 たに使入し同居者は改義所有の交に使入し同居者は改義所有の交に使入し同居者は改義所有の交にである。 類二監時側七園を振り擦ら たに使入し同居者曲茂養新 たに使入し同居者曲茂養新

船

遼海丸

北風身に沁み

削く冬めり

けふの「満洲天氣」も

ながくは續くまい

ゆふべ満洲船渠 錬鐵工場焼く

中華キ

リスト教青年會

の袋叩き

石板三枚南桁三十層を第成した 三日を千代田町三六大連大連石棚 作所に送入し白。赤、青の各大理 がある大理では、赤、青の各大理がある。

出員の風を装つて乗込んで來る苦 を青崎通ひの大連丸船中に於いて

時自宅に於て告別式のみを行ふと中なので郷職を止め仕七日午後二

御會

御

で失つた、池内氏は目下内地障省

蹴球部員十二名に判決

▲ラグビー州内決勝職 十一時半上り青年會

西九十五間、原因は輝草の吸煙で 一百九十五間、原因は輝草の吸煙で 一百九十五間、原因は り出火、職工連が競見し大騒ぎと はないかり たりその筋に 超け出たので消防脈 一 自動車が支那人養機館の二男職権 ・ 場に於く大適中器・リスト数青年 ・ 場に於く大適中器・リスト数青年

健、戦崩型大。寺局治三名りでは、 ・ 131人養漢龍の二男難歴

殉職者は社葬にする **目動車又衝突** · 强漢稱、李長忠、李萬生 (紹清、李長州、李長江、劉德 (花四ヶ月 强腳字、海獲明、

世七日午前七時から同十一時まで の間に市内清製家共同裏地秋郷大 の間に市内清製家共同裏地秋郷大 が、一般市民有志並に が生の参加を希望すると。なは臓 が生の参加を希望すると。なは臓

解、農根補銀理事等認起のもとに指弁少

国が淨化作業

たほその 響である 四五平和タクシー運販予算野職所への一大和タクシー運販予算野職所への一大和タクシー運販予算本系作 便弓町三番地前路上に於て春日町二十五日午前入時五十分ごろ大連

日同氏合兄の永遠を待つて記録に大孤山塚峡作戦に於て帰族に対して十大日火線に附し二十九日東線を表記に平孫配務接出郷作氏の無線を持つて記録に

他の強機者は二十七日数



## 斷は大敵、 泥はび こる 御用心第

大連端に攀つた、油院は大麻、市民は御用心御用心……… 十五日から二十六日の朝までの間にも之れ等コソ泥が七名ほど 十五日から二十六日の朝までの間にも之れ等コソ泥が七名ほど 一選となく夜となくコソ泥は横行する、二 寒くなつて コソ記が殖えた。 ボーイの出來心、配達大の極拂ひ

たが、追騰のうへ加賀町二十八番(は約三國の援密を受けたたが、追騰のうへ加賀町二十八番(は約三國の援密を受けた)の自動車は約五國、草野の自動車 神明高女團歸途へ

原出して 10 まとり かっき 居所を突き止め (東京) では 10 まで 1 無致遊興の大連老虎腰西 (十八歳位) ほか二名と 音響響の生魚頂電脱資人なりと 音響の生魚頂電脱資人なりと 音響の生魚頂電脱資人なりと あたが、金子が松子が手紙を出し ら入金大塚支拂ふと欺き逃走して 無一文のため支掘ひ出来ず役所か 無一文のため支掘ひ出来ず役所か 前週とし十五圏の遊興をなしたが

### 女客 大連輸組廉賣會 多物ならナンでも來 賑ふ

(=)

滿鐵社宅係が合理的緩和策さして

する

大連印刷業組合

勤續者表彰式

く今後ますく一減るのではないの客が少くなつた事です。恐らた。殊に目につくのはローカル

目下調査の準備中

運印刷柴組合第五回嚴續者表彰

あす舉行する

アラップ ( ) がかり では できます。 人月中はそうでも無かったが 九月に入つてポック ( ) 減り十

グンと、狭ってしまいまし

嚴寒と闘ひつ

氷上に熊狩り

消息を斷つてぬた

ロシャ北洋探險隊凾館に入港

目星つく

和七時ごろ大正十一年製の偽造五沙河口郷切符設資所にて十六日午

五十錢偽造貨

日夜 長春行最終列車出發の際受取 十銭日本銀貨二個を競見し沙河口

り攻勢に偽造されて居つた」め本

日まで一般見されなかつたもので

三潜水脈が徹夜して搜索を行つた は果、二十六日朝に充りフロート は果、二十六日朝に充りフロート

且

澤

らず見續き提査中である の贈及機體は未だ發見さる」に至

自

角即河三堨廣西市建大

H

醫

市内一流満店三十店舗の合同になる大連編入組合主催の第二回感費 を、その最初の日の二十六日は宜 が利いたか、緊膝節約が表に現 矢張り既さん。女中さん連が多

なといふのにできます。 はい、このほか和洋熊 はい、このほか和洋熊 はい、このほか和洋熊 ない。このほか和洋熊 ない。このほか和洋熊

海中に墜つ三名行方不明 映畵鑑賞會

公告

キング・オブ・ キングス上映 大好評を博しつ、ある同映書 を十月廿六、七日午後七時よ を十月廿六、七日午後七時よ

VIA

である。明朝末明大連港外層の豫本語の一路開発に起いたが、天無常勝海と続け上橋のて平穏で愉込な航海を続け上橋のて平穏で愉込な航海を続け

時代は移る 青い火・赤い火と後らに そうぞう敷いっとのみに依つ

のおあいて

輕快な享楽 一夕の慰安

の對象となり得るのではありま こうした心特で始めました どうぞータ御散步の御序に是 非湖立寄りを

(來る二十七日開店) 美人女給十数名募集 カフヱー道頓均

電話五六二八書

明り同年同月二十日遊機式ノ名臺灣換亨停止 機式名義書換停止 昭和四年十月二十六日 皆樣 お 0) 會跌社式 は 1滿今底

沙河白

夜間用

沙河口柳商場內電話三次大大番 浪 山內履物店 速 町 電話

4309

4702

0一四五話電 いさ下べらくおご品他度一 ススリン フ長中短 イ 距距距 ・離離凝 工格公司 仲職資物自由 名家鄉城大 下号 官 疑系戶來說 **万臓** HH...... 5.00

大連 連支店

中古機械類競賣 友親村 風呂田秀可 同同造 コ 

日曜の催し 不會館 不會館 在 九時より中 4 窦 <del>萩野谷信順</del>

けふ大連は南満工専を皮切りに

始つた學校軍事訓練査閱

寒さだ、メッキリ多めいてしまつて北ヶ風が肌に冷たい。ぽらく暖かい日が緩いたと思つたら明けて今日、何んとい

〇四ミリ程度の領く小量の限を見たわけである。そ大津、管口、率天、長春に雨を降らせ餘数をうけて方面に装生した高氣壓が朝鮮から黄海といふ工合に動から蒙古の北の方に大陸的低氣壓を生じてゐたが

間官は開東軍急襲按塩紙四部大佐で大和尚山蔵の北風が傾向から・査閣は大連に於てはけふ先づ南涌工業専門學校から行はれた。査廿一日旅順工科大學を接切りに開始された本年度の學校軍海訓練 ましくも元無よく続けられ午後三時過数は、『中・ファンドに於て野り三歌年を最初に監織、教練など校庭及二中グラウンドに於て野食さつける近米にない寒さであつたにも抱らず午前八時五十分より

賣上增加

元木主事談

## 響かぬ不景氣 流石に腰辨町

購買力は減退せぬ

の現状につき總主事元木脱五郎氏の現状につき總主事元木脱五郎氏 | 「大田 | 「大

大豆第三回收瘦豫想〔輕〕

八千代、小寺南間題の一段落で 同意識其他に関し大の如く語った 同意識其他に関し大の如く語った 日本の一般を終った加藤群鉄地栽は廿五日 支那側からの提議に對して

加藤鮮銀總裁語る

間確はしない、外間常替に動で つたが確實な擔保財なら貸出に つたが確實な擔保財なら貸出に つたが確實な擔保財なら貸出に

満洲林檎の 南洋輸出

の外商に現て發送するととなっ 方面への輸出を企圖し先づ見太 方面への輸出を企圖し先づ見太 方面への輸出を企圖し先づ見太 が表現にて神戸に此向け更に南 のを出入日出帆の という。 白米小賣値下

前回の発表に比し四十銭次

した自米小竇標準値は左の如くで 大連米 敵同業組合で二十五日改訂

原 十二月限(10元/4) (10元/4) (10元/

が多く、製品の農料として大豆の代りに機が 一に油を含まねから醤油の品質が 一に油を含まねから醤油の品質が 一に油を含まなから醤油の品質が では、製豆とは消 が多く、製品の農料として大豆の代りに機が では、製豆とは消 が多く、製品の農料として大豆の代りに機が では、製豆とは消 が多く、製品の農産が高く、その **海山溪山水** 上

廉賣の競爭

始めた

時計貴金屬類は殊に大亂戰

顧客の鑑識眼も發達

せんがよろしく……」

を表表する。 ◆ ● 一頭に一部、羊一頭に十個の居 一人一言

に出く『檗樹のため開通式はしまを保村長さんはその言語の話初め 

· 新東(割124°28

満州豆物が形を利かす時が來やら 電話の話初と 温泉地東津の公 う その結果職物の大物底を来して 三十仙の牛肉が六十仙に騰貴・ では大恐慌

特市

况

緊縮節約の目的を達成せんがほめ 芸雑な経

物は賣りやう

販賣方の研究

「商業技師」および

市場測量の話四

答を與へなくてはならない。 等が含まれるのである。市場搬転 のは製はこれ等の解決に適切な解

により商品それ自然に調する次の 相場の測量が出来たら其の結果。 

下部管部北 流播區區 地方

漫經

ると云ふ娘一人に媚四人の臓やかさ。そら引いた 黎山と新養州の解説へ旅艇が出る。今度は大週が出

くワフショく

だけについて特別に調査すること

大、一袋は三十旺人) 本朝鮮米(検査特等) 一災 人、五〇 一袋 人、五〇 一袋 人、五〇 一袋 人、五〇 一袋 人、五〇 一次 人、五〇 一次 人、五〇 一次 人、五〇 

四平街方面に出場で再代は二十万四条町である。 

標商錄<u>營</u>府政本日大 號七七參五〇章葉

平

(151)

曲

家の新しいのがぶ八郎に何をと無が関づたらしく、てい三つと

新鵬で、建つけて二三年になるれるかも知れなレー! ころと見てよ

田光郎といふ男

即ち上つた。

の時の話から考へるといわゆる観察機が進が、後の時の話から考へるといわゆる観が、後の十五日に近びたと式ふ戦が、後つて日活の特作「修修」といったと、大田高の上、後ので、後つて日活の特作「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といったと、大田高の特に「修修」といった。

大吉は美ひながら。 「ちゃ、参六つ時分—— 平野の概の概論で……」

御兵権の後

「からつけつの徹兵衛に抜け目は ねェ・太吉なんかどうだつていゝ のだが、折角だから連れつてやら あ」 一般に踵を喰はせながら、揺地へ

た。 たい でして何か秘策を 二人に扱け

月二回の確定で要行すると、

歌品 一日間 1

| 臨時特別大興行|

の外に更に四六倍判入真の「マキ共に従来隔日に避行して居た通信

をすることになり部員の場員と

の責

純良無比

0

八參ヱキス

か

「合既だ、お大將」

跳びあがつたのはからつけつ

の設置を見た
の設置を見た
の設置を見た
の設置を見た
の設置を見た

大鼓演

漏洲代理店

日本賣藥株式

會和

型 三ヶ月分 ニッキー 生殖機能減退、全 生殖機能減退、全 生殖機能減退、全 生殖機能減退、全 生殖機能減退、全 生殖機能・神經衰弱

百發百中

かぜのセキでもセンソクでも

ド・ラ・ロフク氏の相手女優とし 「愉快な『師』に於て主役ロフ 「愉快な『師』に於て主役ロフ

解が避ばれたの

日

满

业

打波の辭かな、須磨の浦であ

白い砂と青い松、そして向ふに

「何かからー 「もとよりさうだ」

調も知られエ相手だ

オアと照りつける熱の陽光をよっと照りつける熱の陽光をよ

「使眠へかね。お大野」 があるのだ」 があるのだ」

滿鐵音樂會

秋季演奏會

愈々明夜開催

到原

車資曹

畵

が組の喧嘩 オーニ日より解析表記

がしながら、漁師が概

いけねェんだな。お大將」

「エンヤラヤ、オー

酸の革袋(三三

出したいのだが、何かい」分別は

二年ばかし前に兵庫からこゝ

太吉の三人だった

生魚の雕る竹籠を揚て

三人の人影が、砂濱に足跡を引

ておう。さう

うっお 静 塗 二人でやつてみてく

が格別いと智慧が出さらにもな 職兵権と太吉、 助らなアー 新漢語 はいよく 十七日午後七年渡季館はいよく 十七日午後七年渡季館はいよく 十七日午後七年渡季館はいまど しい同部が影響の加き好番組をそろへての放棄は 大尉の娘」

正側風に離る大乘院・漢字月に載る三條磧・

一日公開

キー銀一主義を歌す等の口動を洩れた全く保管し続きものありて松竹だ全く保管し続きものありて松竹だ全く保管し続きものありて松竹



廿五日よる公開

E式型はRCA機を採用すること りとして軟部繊維の結果総人B、 りとして軟部繊維の結果総人B、

になつた。





て御吹聴あらんことを懇願いたします。

足の狀態で御期待れ背きまして誠に申譯が御座いません。愈々今囘多數入荷すること

」なりました、何卒此際積々御注文の程をお願申上ます、弦に謹んで御禮を申述べ併

樊を蒙つてゐます、從つ

がれました、就中本年新

十六號型は炊事兼用で放

天

8

熱面積も廣く而も他品に比

の焦點となり皆様方の御籠

て御注文に逐はれ常に品不

たに賣出した第十五型と第

膃

鬼

し價額が低廉なので人氣

さらして皆様方が比較研究せられた御鑑識の明は期せずして我センターストーブに注

幸ひに兩地とも多大の御好評を蒙り誠に光榮に存じます。

大連及び奉天の暖房展覽會に於て皆樣方の御高覽を辱ふしましたセンター

スト

ープは

建 ) 大

洋





五十艘(侧口分)

セキならキット治して見せる

機は小包料を要も打から御根です 和後、脈炎。 大阪北濱金丁目 同じ原料で効力も同一です>

しむ人が多くあります 今年は割に雨が少く空気が乾燥してゐるだか、例年よりセキで苦

治り悪く、彼つて置けば氣管枝

新時代への進出し 若く愛らと 御園白粉本鋪一併 東 胡 媛 閣

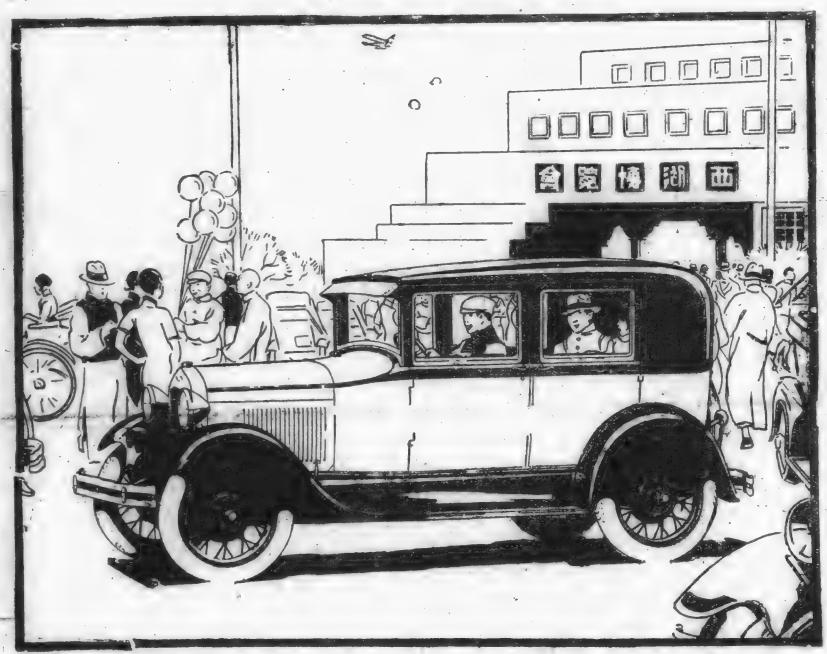
セキなら何でも來い!

新教師栗です。あまりヨクキクのでも師の間でも大評判です 権める結果になりまずから。一到も早く平常をせればなりません カタルや、解炎、助院炎等の難、症になって、を中の出る底に命を かぜを引いてもセキが出てなかり 首から在外の難ではありません。最新醫學の進歩により生れ間に最 ゼンソクや、百日ゼーや、肺病のセキ等の偏疾は勿論、チョッ 選天七中楽しは、でんな瞬間なセキも思ちに治す天下の喪薬できる。

(帰師用のものは「サンロイド」さいふ名ですが「巻天を中華」こ

**黎天堂株** 

新フォード車の構造は その優美なる體裁よ 偉大である



新フオードに乗って最初のドライブに行く瞬間・誰でも之こそ全能力を具備した車だと直感します。 それこそ何んな必要にも・何んな危急の場合に當つても同様であると云ふ心强さは…… 快速力で 飛ばしたい衝動に驅られます。

その清新さと云ひ・新フオードこそ路上を飾る乗物としてふさわしい新出現であります。

誰でも日毎に新フオードに對して真の親しさを……忠賞なサービスばかりで無く・もつと深い変 着をさへ……増して來る事にお氣付きになります。

御契約と如何に係らず最寄り特約店で何卒御試乗下さい。 斯んな廉價で素晴らしい車はフオードでこそ宜く製造し得るとお解りになるでせう。



大連市山縣通一五四番地

大連モーター・セールス商會

フォード自動車輸出株式會社

電話八五四六・七六九六番



雜旨"沒華洋行-電話"七二〇

標指の題問支對的本根

**|** 

するの士ニー本レ B1-0 変政策を合理化したものは本書である。 現下の日支鵬係を心理的に考察し、兩級民族の■学角戦の闘漫書を傾倒して、飽迄も夢的良心の命ずるところに從つて、ご 職せられる満洲問題は世界の視聴をそばた





**聲號佐田弘治郎著** 最新刊

送定 料值 製工 四五本

(版二第)

# して西北軍の首脳連を買收し谷間に際決を職らんとしてをり、去る世四日以來金漿に飛騰度に出ること瞭らかである、蔣氏が最近儲力職氏の機種的關係を希望し一方政治的手段ととは脫離であるが、最大の目的は蔣氏宗都に在り、者し蔣氏がして趣く遂跌ふにおいては爾氏も反應るためでもあるが、最大の目的は蔣氏宗都に在り、者し蔣氏にして趣く遂戰ふにおいては南氏も反蔣るためでもあるが、各軍の顧備から職ても中央軍の前途悲観さるべき状態にあり、者とは脫離であるが、各軍の顧備から職ても中央軍の前途悲観さるべき状態にあり、者とは脫離であるが、各軍の顧備から職にも中央軍の前途悲観さるべき状態にあり、者とは脫離であるが、長天の目的は蔣氏宗都に在り、者とは脫離では奇世の覚慨戦も其職相を掴むことは脫離では奇世の覚慨戦も其職相を掴むことを |高霧氏の躓敗政策によつて馮軍に幾千かの金と地鐵とを興へて解決するのでは無いかと職られる。してゐた宋子文氏は認に中央銀行基金二千萬元に手をつけたとなどは以上の形しを裏書するもので

東北政權徹底的に 對露經濟封鎖準備 商人の取引狀態調

H

露國が誠意を示せば 何時でも相手する 関係。自分、財産の調査を開始し、財産の調査を開始し たと

新教の如く發表したが、王正廷氏 を以て在支白系羅人に宛て 新教閣(狭姿)に関する獣外覚討を 共和國人民中央執行委員館の名義 第支閣(狭姿)に関する獣外覚討を 共和國人民中央執行委員館の名義 **舞望する……王外交部長談** 

一先づ決裂として其態度を

日

大道を切て在支白沢澤人に宛て 人道をわきまへざる支那の如き 風土にあり無限の駆迫を受くる よりは此間自園に歸還せよ、吾 等は自發的師 者に對しては飽 送り種葉的保護をなすことを誓 となる表

\_ 倘石は来る二十八日酸行されるも 決定案 國債決濟銀行 車にて濟雨に向った 朝鮮博覽會 日延しない

本月末日閉會

【皮検特性二十五日發生】朝鮮時であるのであるが、満洲方面に徹底して今村殖にのない個みがあるとして今村殖に 産局長は二十五日肥者に左の如く 

■世事に對し右の旨通告を發して

所では対象に日延しない。 が影響は対象に日延べを期待してある向がある由だから貴紙を適じ で、フキリ傳へて頂きたい。 で、フキリ傳へて頂きたい。 で、フキリ傳へで頂きたい。 ゐると

する陳釈書を提回し以上六ヶ條よりなる

國民政府から 武器輸送を電請 際に出列する東北代表際上途氏以下東域特徴二十五日役】太平洋舎 出席者

京城を通過

北滿の特産物か

満に殺到

を受け施薬問際其の他多年の日本 を受け施薬問際其の他多年の日本 を受け施薬問際其の他多年の日本 を受け施薬問際其の他多年の日本 を受け施薬問際其の他多年の日本 中村神田兩氏歸朝 

滅産した

本大淵三樹氏(浦織上海公所長) 本大淵三樹氏(浦織上海公所長)

五東東麓

年浦銀鳥蘇里 | 間増収の見込みで正に滿鎌の響入發電】特産物 | 手傍畿の態度だ例年より前一千萬

滞鐵が運輸に大活動

は、沈藤皮臓を利用して、投骨壁のトルれを脱弾して以つて實地に臓用をれたを脱弾して以つて實地に臓用をいたを関する。 脚数してみますと、大砂丸いのと 原下なの様になつてゐるのであり ますが、扁平な脛骨は野野人に近 っソンをやる人、郵便配薬をそう であります。之に戻し、 着物をき て椅子によつてゐる人の脛骨はす 萬國職員會職よりの關途に在る中【敦質二十五日發電】ベルリンの

匹

第人を懐柔し以て懸計問題を有利。 特農職國では時局に鑑み在支白来

金部引受昭和四年十一月二十六(專賣局分)割引步合日步九屋預、大藏名證券中號加直二千萬圖

【東京二十五日葵電】モスクワ駐

天羽書記官赴任

人種に高等と下等の

別ありや否や国

頃では一片の筋液によつて蛋白の 原では一片の筋液によつて一層明らか に到るのでありますが、更に此の に到るのでありますが、更に此の

成分なぞ判る標になりました。是

京大教授 清野謙次博士述

(日曜日)

で決裂としてロシアの態度を翻が、変那としてはロシアが該意 を以て来れば何時でも對應策を を以て来れば何時でも對應策を

**大藏省證券發行** 

奉天では婉曲に斷る

白系露人に

「東京二十五日發電」大概省は二十五日大総省證券は就七千五百萬一十五日大総省證券は就近二千萬國(一般會計分)割引歩は日歩九厘(一般會計分)割引歩は日歩九厘(一般會計分)割引がは日本地では、100円(一般會計分)割引がは、100円(一般會計分)割引がは、100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一般)を100円(一角)を10

一、大蔵省

歸國勸告

巧解を連ねて

の甘言を並べた帰國動告書を配

ーセント競みに致しまして必ず次

たっされば小野小町の間に常って和信は決して人類學者のなっていって何中を確はつたそうであり、いつて何中を確はつたそうであり、

の変化を種々に調べることによつ 小野の小町であつたのであります。 のであります。かくして私共は常 ないよのは誤りで。大いに有常な はいよのは誤りで。大いに有常な はいるのは誤りで。大いに有常な はない。

は人種の差の地域にはなりますが
斯くの如く扁平や丸いといふこと

例へば今脛骨の機嫌強を書いて設

のではない。

の業であったのであります。尤っな原業では既に関から在原

小野小町もこんなものである」と ある。小野の小町は又断に骨からつきさしまして『人は無常である』原業やは骨に於て既に在原薬やでのきさしまして『人は無常である』原業やは骨に於て既に在原薬やで、在皆有名な御坊さんに一体和尚とい一でもかゝりますれば又何でありま

を以つて示してゐる。 M-IM)=T(11)

所の遺像壁から出るというなります。 特別道像壁から出るとではねばなります。 はならないのであります。一般寒から出致すべきであり

まして、之に が、大きないであるが、今。例をとつて、 は、鹿でありませらか、その比較は のでありませらか、その比較は がも、その脱離は敷を以つて表は されるのであります。

生物機定線及は標準が まして でありました。 さもと して 説明し、解決をしや うとして るます。されば 数壁のも うとして るます。 されば 数壁のも

世界日曜學校デー

べて丸いのであります。 その理由は、特人や車人は脛骨を よくつかつて愛育が強く、ひどく ひきつける標になるから自然と扁 でとなる。之は駿栗に温係がある のでありまして。しかも此人の腕 のでありまして。しかも此人の腕 は、そして之を歌襲するのであります。この位に致しまして、人種の整を何百、何千としらべあげるのであります。此の能能方法はお若い方法を被なったはならのでありますが、除職のにはなるのでありますが、除職のにはなるのでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、除職のでありますが、所職のでありますが、所職のでありますが、所職のでありますが、

さに於てその結果は 我々は今假りに豌豆を百とつて一

人でも五尺三寸の人。何人。又五一更に人について申しますと。今何 の加き「山」を含すのであります

更に或る二種類間の

尺二寸の人何人といるをか解しくなりますと がる極心純なのであ がる極心純なのであ でも解しくなりますと で示されるのであります。 即の「純粋度」を行す。 即ち此の結果を対するのであります。

っが、今その一 と、山の幅の小 と、山の幅の小 と、山の幅の小

日本日曜郷校院館大鴻安部では今一一一村本日曜郷校院館大鴻安部では今

重要工業品 | 本校本中佐 天津駐屯軍長|

世代の大人物であるが、豊族院を た程の大人物であるが、豊族院を た程の大人物であるが、豊族院を をでは、「一旦相の先輩であり、「会」 といつてゐるさらな▲何しる を「我し、「世代」といふの が多い といふのがあつて、地位のある者 本また春は初段の實力がある が、祝眠はナカーへ上述したとのだが、祝眠はナカーへ上述したとのだめたのだ 

不不不不五株 〇不不〇四六七後 五五三七場 八五五四引 ーー・ホーホ不の二後 三二二 二 九一場 入九七 〇 七五引

申込締切十 月十五日

振替 東京二三八番東京日本橋南茅場町 取級全國書店

支那は 天下分目の岐路に立つ 如何 に動

一般民衆も飢骸に瀕し

質を排へんとす

芳賀矢一落 百

文著全 總級 教養 干有除頁

△全卷完成豫約募集

というでは、 を下らんとせね、南京峰からは何を下らんとせね、南京が戦を極め込んで容易に山 でで盛んに間氏の口説きおとしにで変めてゐるが間氏としては迅難からは何 が、「ないから下りるとすれば脚下に は源氏があつて山西モンロー主義 の子城に攻害せんとしてるる。さ 天下は■氏が眼を終っても。蔣深城にしても。蔣深城にして 第に對する忠誠を疑はる」ことに 進退兩難

であり、支那の であり、支那の であり、支那の

佐分利公使

青島着

日支合辦事業は

絕對に許さぬ

遼寗省農鑛廳長か

管内の縣知事に

通達

無根だ

満蒙開發に關 する陳情書

大連商議から

濟南に向ふ

ある

歐洲關稅調查

さず別々の受託協定となす模様で銀行との間に第一の共同協定をな

イの康、二十五日天草丸で教質に入 一部した、神田氏は直ちに上京する が中村氏は櫛11、三日覧堂・巻きる か中村氏は櫛11、三日覧堂・巻きる か中村氏は一日で

を観察したが配着に語るを観察したが配着に語る を観察したが記者に語る 管・立派なものです。大連の博 管・立派なものです。大連の博 で会場以上です。時局問題です か私は今滿錐の社員に過ぎぬし 支那は謎の國だから端睨出來ま

蔡運升氏來奉 氏は夫人同行で二三日流域の

常態に復す

天丸で驚いた佐分利全使一行六名子が歌時卅分上海より入港した率年が歌時卅分上海より入港した率

128日後代、同夜九時三十分酸の汽(2000年)後、同夜九時三十分酸の汽(2000年)の185

上陸後日支陽係の主なるも

定しその打合せのためであると職は一四日午後一時系率し所用のためと稱し居るも主なる使命は率派の計画、東京の計画、大学の計画、大学の計画、大学の計画、大学の計画、大学の計画、大学の対象を表現の表現のであると、

取が作品で発言の表面を受別した中島別での指令で二十七日を後継を同代職士収りの指令で二十七日を後継を同代職士収りの指令で二十七日を後継等局に出て明確を受別した中島別での指令で二十七日を後継等局に出ているをといった。 中島秘書召喚 の聯絡會議 東鐵ミ滞鐵ミ

時間ではその準備では、一十三日より間に を指すなきる消費向けが全く社経の受託を送上には支端を来さ をおぶことにならうから勿論意識も をおぶことに最も熱心であつてそ 関東職遇信制事務官 特四日附 特四日附

| 神が外に | 長は語ってるた 本別鮮教育訓誦國二十七名 二十五日午後五時半来遠遼東ホテル 中山貞雄氏(代議士) 二十五日午後九時半米連やマトホテル 一年後八時半米連ヤマトホテル 一年で後八時半米連ヤマトホテル 一十五日午後、時半駅再成より来 連遼東ホテル投 宿、午後木 社 東遊馬ホテル投 宿、午後木 社 東遊馬ホテル投 宿、午後木 社

一枚

たなし、医に歐州から陰州の織を つて河南、湖北の平野に押し出む のて河南、湖北の平野に押し出む 肅憲眞氏鮮博觀祭 り、東は徐州を断近するか南に 平漢線は 中間された形と あ 向大駅で如何やらにも方向を駆換 と 得ぬじあらら 風向大郷では南京館ともなるべく郷り閣縁山氏のみでるべく郷り閣縁山氏のみでるべく郷り閣縁山氏のみでるべく郷り閣縁山氏のみで こ つてあるものといはればないね。 に関するかの天下分別の岐路に立 とは、この際であるから交換的に率 大側の自由激量といふところになるやに帰避されてゐる。現に属司 るやに帰避されてゐる。現に属司 ものではあるまいか、要するに支 大那戦局 の内側を物語る がの内臓の前男はこと戦日中に を見るべく。その動き 他に属するか、エれたも馮米の手の如何によって支帯の大勢が耐京

京城の支那總領事

ント引返す一乃至四ポイ 研東藤幹会【廿三日母】 解今 【東京二十六日發電】

(根)東應域信副事城官 (根)東應域信副事城官 (根)東應域信副事城官 (日)東應域信副事務官 開原郵便局配時在動を命ず 治水楠大郎

出来高 期近七十萬間 近く到台 全台 全台 全会

日本三千年の文化を象徴せる

國語界の太陽「峻言泉」完成す 偉觀!固有名詞の滿載

◆申込▼「分排」の方は押刊金として金五町一最後名に窓 ・ 引」を、「一時排」の方は金五十七両「中込金不要)を ・ がれる特切期目迄に御排込下さい」。《以後が排が方は ・ 一時本》 分排の方には本年十一月一後を順次変年一月。 ・ 三月、五月、七月、九月に配布して完了、一時排の方に は本年十二月全部六冊を配布します。 ・ 一様・朝・支各八十銭の送料を要します。

容見小の清鑑に**鉄つ!** には内斧の底棚を報

大連市西通(桃込涛)

熊大連商業銀行

村五童夜、運河を通過した後ャサカ五童夜、運河を通過した後ゃサー度以北の地野から、同十度以北の地野から、同十度以東の飛航を緩返すのだが、その間の飛行を緩返すのだが、その間の飛行を緩返すのだが、その間の

るのだとい

だ理り場で

コラ丸一等船客と船員】

町たじまや電六六〇一番・御賀入報多上

墨西哥灣航行

征雜錄

(18)

機関長と小林再務長とで、勢ひに を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。

不用

三五電六六六三大連条內社三五電六六六三大連案內社三五電六六六三大連案內社

**電話六四四一番** 

性病。報告決疾

の御用命は

では、総り『ムイ、ペン』な音楽では、総り『ムイ、ペン』な音楽では、総り『ムイ、ペン』な音楽ではないが、其席に尾綱な大洋生活

更らに断壓する

てあるが、東郷南駅沿線及びへれてあるが、東郷南駅沿線及が平月上通しで無駄に約の一枚電板:押上通し

へ押選することになった

無領事館の残務員及び

更は一切この際一緒すると、東線問題沿線

の反露團體 震生する吉林

女給 入川霧人にで

速成数授豐夜

女給、入用本人來談あれ

その他二名を逮捕

してふた一者を出したので一層腹隠したが反 満別里の | 支那鍵が同江の一撃に多動の犠牲

として再び勢震撼緩事能の野游域っと考へてゐる、其の量初の犠牲されによつて影骸を晴らさせめてこれによつて影骸を晴らさ

西部線の支那兵

「吉林夏」吉林澄が ・ 本語ので、 ・ 本語のでは、 ・ 本語ので、 ・ 本語ので、 ・ 本語のでは、 ・ 本語のは、 ・ 、 本語のは、 ・ 、 本語のは、 ・ 本語のは、

邦文 年前、午後、夜間 日本タイプライタ會社

シン

失乳

ラヂオは何でも

五球

第木丈太郎 電話四六二九番 第大連二葉町六〇

防寒靴を注文

牛乳

大山通山喜商店 電七二三一番 極上 新糠漬物用多少に拘ず御

素質が悪い遼寧省

在満洲里邦人は約二百名

語ると政府御用機は報道してゐる

調査會 太平洋問題 湍 洲 H 報

ラデオ露語講座

大連放送局十月二十八日午後七時半 講師大連語學校グロースマン двадцать рторой урокъ.

А.—Скажите пожадуйста, не знаете да вы, гдъ здъсь живетъ Г. Б.

Б.—Скажите пожалуйста въ которомъ часу вы объдаете-

Класса, Билетная касса. Жельзная дорога.

A.-何ウソ言ツテ下サイ, 貴方ハ カ様が何處ニ住ンデキラ

ハイ, 知ツテ居リマス。彼ハ 浪速町ニ住ンデキマス。 スカ?

A.―何ワソ言ファドリイ, 貝万へ 毎日共初 1 で マスカ?

F.―ハイ, 私ハ毎日此ノ時刻 = 晩食シマス。
A.―何ウソ言ツテ下サイ, 貴方ノ本ハ如何程デス:
B.―私ノ本ハ三圓デス。
A.―オヤ, ソレハ非常ニ高イ。
B.―何ウソ言ツア下サイ, 何時 = 貴方ハ蓬食ナサイ

A.一私ハイツモ十二時ニ晝食シマスo 一等秉客待合所。

◎ 三行二回金八 拾五 銀金 十行二回金 金 金 金 金

日案内

中古

本家 政婦人五十建前後の人可 振順東四條通 石原準行 石原準行 周水子 日本流で輸受會社 大中 大用 た 端書四 下 以下 子供 小黄寶道の 方腹脈 審持 書 と 在 社 上 単語 業 平 以上 腰 上 単 高 葉 平 以上 腰 上 単 高 葉 平 以上 腰 上 単 高 葉 平 以上 腰 **社員** 招聘固定給支給

フョウ品 高橋賀受 イワキ町 新古県 電七四三五 イワキ町 新古県 電七四三五 田島町 羅樂草鱒 マ山芳文宮 中山芳文宮 一四連常 監徳原下山湖電四三大二 四連常 監徳原下山湖電四三大二 

権河島をシン店電六六八四

大連響城町通五八 南庭堂眉山大連響城町通五八 南庭堂眉山 大連響が町通五八 南極堂温山大連響が町通五八 南極堂温山大連響が町通五八 南極堂温山地充電ラチオ部電六七三九 港修理技術本位 **能甲** 大連市但馬町二二 ガーミシンは常盤指

薬眼いし新 だん進歩ー

なる輝きを生ぜしむ 所謂実践業の欠點を使用后眼の種類を増加 説力を見ならしむ。 合理的眼科樂 秦型士小澤實氏創製 無數 粮快 至便

その瞳を!! 第十五級 查爾(加工學)

長夜



車電の平北たれさ場破撃襲

虚楽の奴隷 は内のこと 以内のこと

婦人 網大連二葉町六○ 第話四六

療治御野みの方は

第二人のレビン設 編州里最近の状況 を定るものまでも丸脈で全く武装。 はしてをらない。これは西部は紫 でも丸脈で全く武装。 でも丸脈で全く武装。 でも丸脈で全く武装。 でも丸脈で全く武装。 でも丸脈で全く武装。 でも丸脈で全く武装。 では武装自断軍の方が整弦を繋する は武装自断軍の方が整弦を繋する。 は武装自断軍の方が整弦を繋する。 は武装自断軍の方が整弦を繋する。 は武装自断軍の方が整弦を繋する。 は武装自断軍の方が整弦を繋する。 たから特別な大きな、 をは「歌手は解析にない。近く歌を発は、正式會議開催で解決する。 を変遊は、正式會議開催で解決する。 を変遊は、正式會議開催で解決する。 を変遊は、正式會議開催で解決する。 を記されるる程等とない。近く歌とない。近く歌とないものと見られていた。 と話が駐立してゐるが、炭坑は歌さな、 大に埋没し出遊戯も極めて少く連れて、 とは、 とは、 とは、 といものと見られている。 では、 とは、 とれている。 では、 とれている。 とれている。 では、 とれている。 のだったは、 をは、 とれている。 のだった。 とれている。 のだった。 とれている。 のだった。 とれている。 とれている。

に関する調査を終へた際京振道部で、サ五日 | 代表陸學院以一行は東支の車西喇でしたが、サ五日 | 一般の東北州省に於けるを鑑識問題に関し一定の方針を立てる意識である。一行技術者は背景の方法を立て、 1949年 | 1

館見 雄科語院 大連市浪速町特田順天営町鮮糖督府官製

**婦人** 病 像ハリ灸事門療院 電話八二〇三

海州家咨詢院 ・住総会 を記して、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは、

多元谦富 一日泊込蟹闽参拾錢 身元谦富 一日泊込蟹闽参拾錢 明公屬町五七 

諸貨物運搬

吉野町二六 一萬堂書

Ep

高價質受御報金上

☆ 大口:特·勉強 大口:特·勉強

電話 瓜利金歌

野中醫院

玉圖合名會

薬店にあり 全國各地の

自動助眼式容器・本品の

高と呼ぶ毎年生員の献意 ると呼ぶ毎年生員の献意

会会は、に合格せしものを会議に合格せしものを会議に合格せしものを

漢文の力により、所定の試験を経

持ちて自己の生員に影ざるを示す

べき資格を門たるものなり。

事人にして子、午、卯、酉の各々 、世し監生は京師に於て郷試に 、世し監生は京師に於て郷試に 、世し監生は京師に於て郷試に が、其試験場を特に北圏と云ふ

を料準の間と云ふの以下此試験 官強に抵用せられたるものなり

金融組合を設立

補助金は五萬圓見當

路傳ひに徒がで 稱して外出 籍長崎縣南高來

至滿を股に 大詐欺を働く 蘇家屯から逃亡して

陳相屯に來て捕はる

電補された事件が は管紙皇帝の画味変楽氏や験有電 は管紙皇帝の画味変楽氏や験有電 は管紙皇帝に於て聞かれるが、響に は、青島を設にか、世六、七、八の三日間當地滿縷社 はで、これ、一部の一日間當地滿縷社 もので職不の途中附屬地でも三日のがある鑑以上の作品は数日前城 間開き安く頭つこと」なつてゐる

便宜を圖る 

一大大利子大利工夫、10日氏

「国を信じられてるたらしいと
国を信じられてるたらしいと
国を関を接駆する国要地配であるか
のお思えの歌記を受け之が滅定をなしそ
たなる間後地を有し古長寺敦立に
先づ信職所が中心となつて加入者
に使れば長春は人口の割合では廣
なってるるので直に實現に離手し
たなる間後地を有し古長寺敦立に
先づ信職所が中心となつて加入者
に使れば長春は人口の割合では廣
なってるるので直に實現に離手し
たなる間後地を有し古長寺敦立に
先づ信職所が中心となつて加入者
に使れば長春は人口の割合では廣
なってるるので直に實現に離手し
たなる間後地を有し古長寺敦立に
先づ信職所が中心となつて加入者
に使れば長春は人口の割合では廣
なってるるので直に實現に離手し
たなる間後地を有し古長寺敦立に
先づ信職所が中心となつて加入者
に対する所
の地理事者歌定等に関し陽夏職に
した
ない理事者歌記を
ないて加入者
の地理事者歌定等に関し陽夏職に
した
ない。
とは、第一次に対する
のは理事者歌定等に関し陽夏職に
といる
は、第一次に対する
のは理事者歌定等に関し陽夏職に
といる
は、第一次に対する
のは理事者歌定等に関し陽夏職に
といる
は、第一次に対する
のは理事者歌定等に関し陽夏職に
といる
は、第一次に対する
は、第一次に関する
は、第一次に対する
は、第一次に対する
は、第一次に対する
は、第一次に対する
は、第一次に対する
は、第一次に関する
は、第一次に対する
は、第一 常権公事室創立十周年記念式は 八名は無鍵な死亡となつて現はれた日本の一十五名は重解像を負ふて滿郷内二十五名は重解像を負ふて滿郷 一、原籍機は軽騰豆街「色野大字」をが日本人正名の中観山在住者四名の原鑑及略懸は左の通りであるが日本人であるが日本人であるが日本人であるが日本人であるが日本人である。 業中であるが、二十五日 不明者に動しては見確さ五日朝一個を發見し今一

昨年満期倫康と共に入社したも 第一中職に入陸して軍曹となり 第一中職に入陸して軍曹となり が年満期倫康と共に入社したも

安東地方事務所社會係の事業と 家庭出張作業

崎縣西坡杵郡香嶼村一

山中第一(日日)

し一左の如き設備及び再業をなす事と 的教養並に訓練に資本

が選事せられたが同年が就任を背に依つて再覧の結果活政第一氏

役員は継辭職して改選

止することが出來

ので廿七日午後二時より遷座落成出雲大社教育所は今回慇落成した過酸來青葉町に芒葉中であつた

▲銀岡滿級經理課長

廿五日開原

開催し一般の來觀を希郵便局俱樂部に於て菊

田中義一男の追悼會が配大に執行された。太田地方事務所長、西尾色長代理、野原郵便局長、其他名土多数の参列あり市中各寺の僧と、郷まり理殿し太田所長市跡を信め、郷まり理殿し太田所長市跡を 職所並に山口縣入會の競起で廿天地方事務所、居閣民會。商工 樂部に於て滿鐵社會肆主催小谷ま・▲天勝一行・廿一來る十一月四、五の兩日滿鐘県│ 安東より來奉 理として二十五日出發し予問した井率天鑑道事務所營業長は所長代大孤山の爆破大響等件のため白 過信部事務官六等に榮推し細動すること」なったが後任には大遠郷 便局電信陳主任岩本宗太郎氏が齎

日候頭より來率部典史旅行團第二班

後二時三十分から大孤山孫總事務 をたす魔あった ・ 本孤山の爆發に強酸せる変那人從 なり山本社會主事は二十四日午後 ・ 大孤山の爆發に強酸せる変那人從 なり山本社會主事は二十四日午後

4鑛事務所コートで

學校ご家庭

三、電話堂(毎週土曜日午後三時

語(山本社會主事擔當時間)

煖房据附と

協議會を開く

火災豫防

一、娛樂、卓球、曖昧、輪投げをたす魔あつた

事務所一同、振興公司總理于本務所一同、振興公司總理于

廿五日過率安

尚ほ支那人 一名の死體不明

名が殉職

者の数に就いては到然セプニ十四 上を従事賞全部の監呼を行ひ収割。 た結果、雷時現場にあつて作変し て居た中國人は五十五名と判明し 大孤山爆發事件

川郡西濱村大字

一、原籍静岡縣小笠郡原谷村木郷 系道二段水泳一段の運動家 系道二段水泳一段の運動家 模擬攻防演習 明治節に在郷軍人が

でまずる壁であるが、 めに臓じて家庭出張作業を開いる種の催しあり非 腰しつ、あるが今可各希望者の として家庭出張作業を開いてあるが今可各希望者 調多物の仕立直し其他で出張る事になった。種類は子供服の新 見童設備

実施及び交友機関に供し傍ら社 実施及び交友機関に供し傍ら社

林總領事來る

吉

電車、栗野公所長、職交渉衛門 ・東野公所長、職交渉衛門・ ・東野公所長、

五日夜は支那嶋の揺ぶに列騰し二 林に引返し名古屋館に投稿、二十 時三十五分数の吉敦司車に乗むへらは職労の諸に於て少様、午後十二十五分数の吉敦司車に迎へられていた。 東道した外、標音中の三浦闢東極いればに向つたが、吉敦田邊技師長 

金森執行委員の 除名を可決

生位のもの最も多く表記、三年の生位のもの最も多く表記、三年の生位のもの最も多く表記、三年の生産的力を競弾し移

-- [8] --

撫順農會の紛糾 に於ける第一の恩萊地として將米の飼育者あるべく其鳴には贖東州 等之が普及に努めて居るが近く移った依の観点制度場を設け實践する い、銀菱で埋水池・脇かとの 場か、銀菱で黒煙花の巷を游行せ 場か、銀菱で黒煙花の巷を游行せ 第二位を橑眼、第三位を探化と云総林(単位)と稱し第一位を釈元

つに分たれ、之を五質と云ふの即三、郷試、に聴ずることを得、此触に合格して始めて秀才(単位) 電を有したり)に於ける省域主率、と稱せらる。秀才は電劣により五の電を有したり)に於ける省域主率

試験に合格せしものを

百

所祭により既官するもの、金に 管位を購ふ振班なるものあり。 所試験と悪手段 で質ふ手段なり、試験は番號 以て試験官は本人の

住年氏院の謎だしかりしことは生命の民職手段なるが

常要 作文、作詩、各獨特の學、 受職する主教にして多大の報。 受職を受く

六日午後零時十五分發列車にて 吉武氏が就任

劍道大會開催

所数は月一回水至二

OCOOO 六五五四四 ウベニ入門 マレレルッ

所職は月一回水至

射撃を行ふ由 日本人遺憾者の遺骸は大孤山俱 けふ葬儀 華人殉職者の へな葬儀 

本月中旬より工事に着手したるが 本月中旬より工事に着手したるが

新臺子の陸橋

十一月末には完成の見込である

臨時線敷設

〇八〇茶地

るとなると事態は益々粉料を修む ること」なるので、其後間氏も已 で、其後間氏も已

に於て第五回回上會を開く答 等では二十八日午後六時より簡堂

明治節の催し

として立ち舞る香煙は晩秋のそれには所狭さまでに並べられば 神、作各地方委員、岡部南友會 元韓入組合理事、増田、石川。 り足別遺族及加藤實業協商長、風になびきて誤新たなるものが 会員は電分の間百名内外として会会になっている。 ・ 本ールを充富する情報は安東俱樂部 ・ 本ールを充富する情報は安東俱樂部 五、レコード鑑賞会 時間は同上) 支那人が 職品所持 る計量中であると 

り男表、矯然、于冲漢氏祭文偶の護經によつて式は開始され夫 る端があり隣接種に三時代終 志多數學列し支那導師 窃盗犯人逮捕 五。接觸領處は不動物を以てする三、類実の取付を完全にすること 左記各項につき實地指導をして居中原保安主任実他は各戸につき、無機強の据付につき火災強助の 言。不完全なるものを使用せざる 付けざること

東

たので同人の所持せる現品二十九 たので同人の所持せる現品二十九 たので同人の所持せる現品二十九 たので同人の所持せる現品二十九 たので同人の所持せる現品二十九 一大、先端は軒線より三尺以上突出 大、先端は軒線より三尺以上突出 社、映損又は破損の魔あるものを 単一 大、 元及煙突を完全にすること た、 方及煙突を完全にすること 一十、 石炭酸の投棄に注意すること 支那館中等學校では激員連の動め 對露時局研究 論評飜譯刊行

総談を確認して一朋とし近く刊行 は料とはしつよるを選多の支那紙 を日支継漢にはびつけて掘日の好 を日支継漢にはびつけて掘日の好 を日支継漢にはびつけて掘日の好

※月開廷となつた
※月開廷となつた 今日の案内ニーゼ目) 公判延期二十四日開廷の 發展する

部一側打器に逮捕されるものと見るから此二三日中にに共譲者も全るから此二三日中にに共譲者も全

大年度の家職攻職二千五百餘貨一に於て加速度の獲暖に於て構立收職工作を開放の機場に於て構立收職 養蠶業 大孤山の

第四回満日勝繼春戦(勝江回目)先相光光番宮武真三太氏第四回満日勝繼春戦(勝江回目)

本非職公約を破壊する震闘を打倒 ▲中國々民黨の革命外交を堅持す ▲東支掘道の無條件回收を實行す ▲洪水猛獸的の共産黨を除去すべ

農工商車共聯合して外交後援を

電燈祭の壯觀

二十四日午前十一時より 秋季招魂祭

本溪湖

第八天地方

大連市位透町三九四二丁四

00

二十七日十四時五十分清冽中にて 来開直に滅兵隊の東照を破査し二 中、一泊翌二十八日守崎隊の東盟を破査し二 を競査し同日午前十一時五一五分 を競査し同日午前十一時五一五分

多数出席を希定すると 多数出席を希定すると

黒猫の盗難

新道橋で一婦人健身術」を教授すは無順高女の第二十九日は永安寮

端州柔道界の巨星大連の山田六段

山田氏が指導

婦人護身術

二十四日より二十六日まで平底線 に於て墨行された製加中駅は無軽 を天、虎母祭、開県の四個神縣に を天、虎母祭、開県の四個神縣に 大で開原中駅よりは動物の関係上無 大大で表演した。

守備師第二大脈の歌舞科が流

輝間快學寅曾

まだ得の日の二十四日午後六時四 回管内西部駅出所員の瀬道大会を 十分新市街の陽門たる太官閣西南 回管内西部駅出所員の瀬道大会を 大々的に宣傳 一年 1 出版・ 1

ブスと確定請練整院へ入院した 温陽 景楽山田 刑事人院 盗陽 景楽

ら非八日迄三日間一周年記さ費用遊り本町の梅田吳殿店は作六日か

記念 **資出し** に於て爆製演習 に於て爆製演習

単寸を
▲十一月」自首山射撃場に於て實業場附近に於て爆製演習

加原陸は工場、機関国、飛列車国外に昨年は一種組が優勝した。

ピストル强盗に

勝山校長襲はる

現金時計等を强奪して逃亡

大官橋附近の路上で



に住家を作ってやるやうな場合

職部に宜る前に一般的な注意を

般的注

所を出来得るだけ動くする。 所を出来得るだけ動くする。

があらの出入口でのにし度い。

田せないやうなのも面白くないと の選先がお嬢所を減らねば、揺き

を 小銀を造らる」ところも を と思ふ。ホテルとか網院等の大家 所となると、院が家庭向きのものに止め度い。 お歌所の外部との出入口に設け、その一つは お歌所の外部との出入口に設け、その一つは な歌が変として一部が欲しい。 お歌所の外部との出入口に設け、 を のよのに止め度い。 を のようには一 を のまる。 だいがいまでも良い。 お歌所の外部との出入口に設け、 を のようには一

お臺所の區分

木材を用ひる個

の配管孔を光分に注意して開鎖す

既にお薬所の根水孔は

かっけたか舞らぬやうな上世や「 気部から出入し得る土間や「 し或は麒麟する場所には説け ないの指揮を貴む場所には説け を対し、直接

変造に就ての一

・ 駅 で 使入が防ぐ事 木材を上げ度いと思ふ。

見りの中央公園の花壇

ク」用として使つて來た爲めドイして古 くから「シェバードドラ

比犬が幸ひにして日本の近き果

ドイフでは此種の犬で護羊犬と

衛生的な

お臺所の造り方

・小宝を造らる」ところも働くない ・小宝を造らる」ところも働くない ・かっています。

日

られた器械です

ら配かされずに被乗されたならばら配かされずに被乗されたならばら配けて登ら配くべく形澄

ではおいます。日本ではおいではおいではありますが、それ ちの称名社会にはの事だやありません。即のます。日本ではおいではおいではありません。即のないではおいではありません。 は、 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会にの事だやありません。即のでは、 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちの称名社会には 
「本のと云はれて居りますが、それ ちのなるには 
「本のと云はれて居りますが、まれているには 
「本のと云はれて居りますが、まれているには 
「本のと云はれて居りますが、 
「本のと云はれて居りますが、 
「本のと云はれて居りますが、 
「本のと云はれて居りますが、 
「本のとこれでは 
「本のとこれでは

である。現代の世帯に物質文化に生命であり、人生の意義があるのの世帯があつてこそ青年としての

何ふ處何ものも打ち挫かねばなら

●其の血の臓る域其の意気のたる意気を擽し、そして其の

年の全身には青春の血を湛え、

B

# 國家將來に憂ふ

### 物質文化の餘映 避苦享樂は社會の自滅 潑剌な青年意氣が必要 き

支機では年歌の三十郡を使用するにしても二郡の差がある丈けですにしても二郡の差がある丈けです

な金を結婚に使用する事を示してのを見ても東洋では一たいに莫大

白然水葱

の秘密を何し

明いて

家庭ではスペインが五側に か、他の観ではスペインが五側に では ニーエ 割と云ふのは如何に 我が日本の結婚には 無

なし、マケュでもか

ち年取一萬個の家庭のそれ 関連する年数二千個の

れが二十

美術家の苦心

表现社上如何

の多い事ではあり

三〇間三〇間三二元間三〇間

モグ

人画報

は

文學博士

に使ふ爲めにお金を稼ぎ貯めると

人れる

して英國ではさすがに年收の八割

तव 3

んだ自 描

然は煙突

馬を描

叶 2

本語・学家に耽っては自然を探致す の意義は何處にあるか、而も其の たば 養満多に因する疾病の爲に無 これ文化の餘既でなくして何であ 変形を で は 強素 過多に因する疾病の爲に無 これ文化の餘既でなくして何であ で に は 強素 過多に因する疾病の爲に無 の爲めに青春の血と意氣を失はざ 居然 解的裡に人語を完ふせずして らん事を 國家解釈の爲め切裡する と 世を離する。 斯くの如くして八生 ものである。

居ります。之等の事を考へると賛年他の二割丈けを結婚に使用して ジョア國の米國でさ 乃至一割丈けを使用するのを見て 年收の二割丈けを結婚 へがせいん

もつと結婚費を節約する必要があ乏國で借金國の我が日本では當然 ん。此の結婚数を学分にしたにしお金で得られるものではありませ 違るりませんが、それが必ず 用して大部分は結婚後の入費の爲るにしてもその一部分を結婚に使 めに使ふ であり、最も華やかな事件には相 るにしてもその一部分を結婚に使りませり結婚の爲めにお金を貯め いが論結婚は人生中の重大事 賢明と云はわばなり で無線電信の古東大佐がドイツの 地で無線電信の古東大佐がドイツの 地で無線電信の古東大佐がドイツの で無線電信の古東大佐がドイツの で無線電信の古東大佐がドイツの で無線電信の古東大佐がドイツの で無線電信の古東大佐がドイツの で無線電信の古東大佐がドイツの

結婚亡國の

難

結婚費が多すぎる

社會局調査の各國との比較

としてもっと確康に結婚式を潰まる程会私經濟の行きつまった日本を経過の行きつまった日本 れば結婚できったもれなおいません。 華かな式 難だ、緊縮してと

八七四二一一一千 數割割割割圓

的性質を以て居る犬であります交流し外部より調査等盗などが絶転に入る事が出來ない業別する先天に入る事が出來ない業別する先天に入る事が出來ない業別する先天に入る事が出來ない。 脱炭に富んで居り人の言を好く聞により凡を複性的精神を以て責任により凡を複性的精神を以て責任により凡を複性が特別を以て責任が表しては影響がある。

人には忠實で終い時後するのであ使もする質物にも行きます都大主

訓練して居る犬の祖先が即ちそれ

いろ!

しな役に立つ

電用犬として神役され其効果が全部の時間の で来ましたが、歐洲大阪の時

してより行政警察も支那に移り支が前年日本より安那に青島を選附 れ犬の僧館が全く落て居りました 楽る簡易なものだ。 ちよつと目先きの**變**つた物を講像で佛式機械刺繍と言

して欲しい之は獨り私ばかりの拠い、物にするか價を最ら少し安くいとなるのである。 して欲しい之は獨り私ばかりの拠い。 

るは無流である。 変を設ける。其位置は貯蔵部内よ の洗りも、撃ろ外部との出入口の一部 との施りは方が良いと思ふ。 との施り場はすべて原料品の人 野英類はこの消費整に答れて、 野英類はこの消費整に答れて、 野で設けた方が良いと思ふ。 とする。 野英類はこの消費を であらごなしをこの洗布場で行り類は である。 の洗り場はすべて原料品の人 のみまする。 の表現はである。 

州二十六二 五十二日日 公分分分分

**加拿**斯查拉

の魔見書らないいまく、 はない、 須夫婦の上衣、 ち な夢らな茶色もリリモン糸 な夢らな茶色もリリモン糸

保たす法 蠣灰と藁灰

こしけ、血血海、和減、酸固、 (2.7) (1.7) (2





まみ試ず必は人る

せきの

彩る

3

交替る た

小さむ

うる

肺病を見せき類り 百日せき又ははしかぜきに難氣の がで感 胃より 起るたんというないではれるといってゼイゼイ感切れするぜんそくにでゼイゼイ感切れするぜんそくにでゼイゼイ感切れする に臭氣を帯び時々血のにて常に力なきせき出 のか を味るしたのグ

を関係の苦痛を完全に除く。特に附記して置き度きは薬質のなり咽喉の苦痛を完全に除く。特に附記して置き度きは薬質のなり咽喉の苦痛を完全に除く。特に附記して置き度きは薬質のなり咽喉の苦痛を完全に除く。特に附記して置き度きは薬質のなり咽喉の苦痛を完全に除く。特に附記して置き度きは薬質の名益々殺揚するは是れが爲であります。





を はい。 酸に要しても、この ない。 酸に要しても、この はある。 

集製されて大いの

痰咳喘息を捨てる置と 如何与病氣上變症が

ので、威意味では見んしし ので、蔵童味では増んど裏続いて、後日思はね病気の服金では質に動した。 ので、 蔵童味では質に動した。 んじて、後日思はねな

でする人が多いのには悪くなで り返しのつかぬ重柄に固持ちせ の治療を手遅れさせて一生和

ン夫人の雑誌化 新青年 上婦之友 好五彩 11 保健。鍵 婦人病を治すにも 夫婦圓滿の鍵も亦 此の名葉によりて 此れです

て命令に從事す れの雲間に「五穀のみの

総込みます

イク本國より直觸スペジャロカト
世九日に展覧館がありました出犬
中九日に展覧館がありました出犬
を見まするに在來種の青島シエパ

を加へました結果本年の九月本國より直輸入せられ改良に

ードドツクとは全人見違へる様な

職に對し多大の貢献ななすは此犬離する事なく主人の身を譲る事人を取と主人の命なら水火の中と雖も 破と主人の命なら水火の中と壁も をなす他犬の到底をばざる男と機 をなす他犬の到底をばざる男と機 をなす他犬の到底をばざる男と機 

比大の種類は我々日本人の無質 にピッタリと台つて居るので使然 液管大衆を風難しまして一時は稍 液管大衆を風難しまして一時は稍 では全く質用的堅実の地形を築い では全く質用的堅実の地形を築い 

ます【寫画は護羊犬】

古(番)

佛式

火鉢の火を

龍角散需用の季節來る

四人十四六 十五日 十五日 日 日 日 日 日 日 分 分 分 分 全國各栗店に

本 舖 藥劑師

++ 四四周级线 --- 其言

個はけどで

服に固った。

すれば其効果臓器なり

機下Wラインに二、三人の プルと

七の傷勝戦と見られてゐ

株といへよう、満年の別とでは、 をといった事は同戦の持つ経 をいった事は同戦の持つ経 をいった事は同戦の持つを が、工戦の戦力又復名べからざる が、工戦の戦力とし、本年は新進ではめ初秋。 ないった事は同戦の持つを がを をいった事は同戦の持つを がを をいった事は同戦の持つを がを をいった事は同戦の持つを がを をいった事は同戦の持つを がらずる

るが、それに先だち同日午前十時 千歳(馴東郷)紫工草のゲームが 手歳(馴東郷)紫工草のゲームが 

入連運動場に於て舉行さ

を以て満鐘、工 夢 の エイトシスプの一人は完全にTB 縁に入る)

が、家族を合せて約八萬の多数を に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつており、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に移されること、なつてあり、水川県 に対して社場はの に対して社場はの に対して社場はの に対して社場はの に対して社場はの に対して社場はの に対して、 に対し、 に対して、 に対し、 に対して、 に対して、 に対し、 に対し

し獨特のセブンシステムへへー

|今二十七日午後三時||ドし獨特のセブンシステムへの選手機大會州内央勝||で頭號つて自由自在に味方をリ

大連運動場でけふ祭行

見物は工大對滿鐵の准決勝

強て神戸川崎造船所で造船中の同一八個は擬武館に運搬し変那人は、特別の一条には、一条の一次月、一名を同行し、一条の支那人二、三名を同行し

來月初旬就航

秩父宮の台臨を仰ぎ

けふ莊嚴なる

内決勝戦

**兩洲醫大氷滑部** 着々その計畫を進む 惱みは經費の捻出

この日先づ三千の選手、役員並びは切つて落されることしなった、

を 連に入場 音解する。やが 関東を 興味の 軽快

個本大家常、八月東部員数名を出し二十四日小作館十数名 (株者を出し二十四日小作館) 青森縣上北郡 (株者を出し二十四日小作館) 青森縣上北郡 (株者を出し二十四日小作館) 十数名

治神宮體育大會はいよく二十七とをもつて相搏ち相殿。第五回明

を散らす大接戦を演ぜられるので 一日は一覧に開始され各所に火花 一日は一覧に開始され各所に火花

場に於ける開會式を以て戰ひの幕と日午前九時から明治神宮外苑野球

ある

青森小作爭議

死傷者を出す

常人達がその数る、<br />
健康と勝る力<br />
東京特電二十六日<br />
東コー大日<br />
東コースの<br />
まる力

御退出

**・神宮競技の火蓋切る** 

經濟緊縮映畵 入選者發表

十日を以て総切り二十四日報査の 本二等 道は娘はしくとも 東京税 | 監骨局内 野津喜一郎 本二等 道は娘はしくとも 東京税 | 監骨局内 野津喜一郎 

故風呂田巡査部長の

廿五日西本願寺に於て

名一これより先氏の霊柩は大黒町自宅は一草山西本願寺において執行された

大に執行

問題祭編数は一千四十一編の多数 恒孝

命懸の繋船作業に 裸體身で働くもの、尊さる 知れぬ苦労

犠牲者哀話ニっ

三千順には四隻。それ以下に四隻が 以外に親取爵安東とご始の二隻が となる。

船の数助等に手機を立てして機能があってこれに例

ラザス

分 ニュース

三千順には四隻には四隻には四隻には四隻には四隻には四島・村田

には四隻、それ以下に四隻、南島の三船、

科能身で働くもの人言葉には頭が

早 雕場に用ふる小茶

へ間が小さく見へる事がある ので、凄い嵐の日なぞつくづいても人の力には限りのある ので、凄い嵐の日なぞつくづいた。 で、凄い嵐の日なぞつくづいた。 はいますよ、ナンと

◇…狂人 の如く荒れ脳る物 は悪を背景にして その他の現態戦に を作奏として完全に常整へピタリ れながら本船はパイロットの窓際 れながら本船はパイロットの窓際

中に潜ぐつて外さなくちゅんがありませんな事には例へ多でも組みがありませいけない。

貴としての能強い力闘を滅けて あるのが。船般係の緊縮で目下 五名の日支人が緩射部所で、現 のでは、現 のでは、 のでは のだ、この網盤は三千階級のカー を要天丸が急行表動に書つたも で、この原質品神でドイタの 大ある、この原質品神でドイタの 大きを表した。

のは少くもこの現業の人達の努力を見いてなほ八里出せるといふ都

在、1966年,東京、大田原 位海、江田原、安藤托佐、山麓公、大田原 位海公、大田原 位海公、大田原 位海 人名 医复数 一二、 東新、不思議な子」と佐藤尚二、東新、不思議な子」と佐藤尚

書を作成し、同三時五十分より被表の大力で、同三時五十分として戦闘、松元の、行及び、件として戦闘、松元の、行及び、件として戦闘、松元の、行及び、件として戦闘、松元の、行及び、件と一条何司法十任と打合せの後間を指列りと一条所引法十任と打合せの後間を打切りと、調査を解析した。同三時五十分より被解信長を訴問と打切りを強い、同三時五十分より被解信長を訴問という。 軍資金を强要

直ちに捕はる。

(阿里斯斯斯马马二重)

大業對策の

とし

9

内務省から民間會社へ通牒

來る

知事を通じて各民間事業會社に發知事を通じて各民間事業會社に發加を通牒を社會局長官より各府縣

解雇解職は出来るだけ之れを少くし賃に已むを得ざるものに勤 職業帰關に獲告し以つて順職轉 動を容易ならしむる様適信の協 置を執らればし

様だ、千蔵の力は全然未知数に してその活躍は各テームとも優み かに恐れを描いてゐるらしい、何

らしい、何

青年聯盟でも

生活改善の運動

公私經濟節約會やら

滿鐵社員會と呼應して

除りに正直すぎ

全滿ラグ

F.

-選手權

何れ劣ら以自熟職となるであらられにしても當日三回のゲームとも

拳銃 連累者多數の見込 挺の大密輸事件

はして東方面に数数のサイドカの指揮を仰ぎ、直ちに大活動を の指揮を仰ぎ、直ちに大活動を の指揮を仰ぎ、直ちに大活動を の指揮を仰ぎ、直ちに大活動を のが表すりででする。 のがある。 のがある。 で呼び寄せたと、 でがないると、 でがないないないと、 でがないると、 でがないないと、 でがないないと、 でがないないと、 でが 関事に機械し更に人品管機率 一尺ばかりの木縦入側を排物 一尺がかりの木縦入側を排物 事か大事件の端緒を得たもの突如――大連署司法刑事係で 新しては配司法主(住自ら)料しては配司法主(住自ら)料でを開始した。木曜には何れも ゴム長靴十文十足、十文学二十足 銃簧、爛丸が轉げ出た、全部でモ 部補立會刑事等線がかりで蓋を取 郷丸二萬酸がゴ人長靴ぶ蓑の下に「ゼル等量」 ゼル拳銃二百挺、同銃窟二百個

活動は拳銃常輸事件と置めたが、 

再び捜査活動を開始した 大孤山で強酸した 廿五日夕歸連す 後に制作氏の遺

ため妻随氏に逃げられ管薬開始食年前よりの悪性の花柳病と貧困の **善堂に收容されたが、原因は約五** し苦悶中を同居人に發見され宏濟。 市內橋立町【〇毗修理潘正陸("計) 五日午後九時ごろ阿片を喊

は緑治の妻に當る實姉壽で

見自動車で怪我 買求め下さいませる



供物は堅く御辭退申

は電野匹七六十の不配達其他名

野教行致候に就て は御多倉中午後四時より殉職致候に就て牧山に於て殉職致候に就て紅總裁室勤務職員 浅川柳作

用命の程偏に願ひ上げます 各種多數に到着致しました何卒御 西フルーゲル、ウエルケの第一囘 西フルーゲル、ウエルケの第一囘 島韵 計級

三十八日受渡ででするが、 (一六〇〇欄) は版/綾エ 護謨靴が

月四 して鳥木が三郎氏が就任の歌紀来る 大連間に就続すると、なほ船長と

と日ヤケやまた雪ヤケのないのではなっていますかられています。 は個具なクラブ美身クリーへを目は個具なクラブ美身のなん タラブ美身クリーム

清

大連ヤマトホテル支配人 高級社員家政局を求む 相常教養ある四十歳までの婦人 お望の方は御来談下さい

名 图 酒 告食

東京風菓子謹製 非豆 0 りり 0 00

8 本各地名 産

四 四

金

屬計

直輸入

を擧げての値段比較御奉仕大廉賣御立寄り御器と スォー 御比較を御待ち

他に對し千葉戦か主任は巡査部長 を翻奏に到る、準備場にはこれ等 を翻奏に到る、準備場にはこれ等 れて焼きあり、暑食一同鼻敏感のたねは場内を埋め骨侶の機器に加かれて焼きあり、暑食一同鼻敏感に加かれて焼きなり、暑食一同鼻敏感の 馬巡査を先頭に同果を出挖西

製品及ダイヤ寶で

ず、旅行シーズ 寶石指輪種々

ズンに

双眼鏡ミ

な流行

佐古馬

DE

平日本

の全店品を墨棒な銀器

永保ちのする

靴修理が阿片嚥下 3

智がになります。 智がにおります。 は帽子として、

「ボルサリノ帽子」を

全国一流の店で観賞されて居りますから、スマ流行を代表するよ品な純土同から、スマ流行を代表するよ品な純土同から、スマ流行を代表するよ品な純土同から、スマ流行を代表するよ品な純土同から、スマ

大連南山麓柳町三1

永原小兒科醫院

全滿米穀同業組合御中 雅 希 大連市紀伊町二十七番地年十月

行為ハ断 ジテ不仕候 事ヲ相誓ヒ此 投紙上ヲ以行為ハ断 ジテ不仕候 事ヲ相誓ヒ此 投紙上ヲ以捐傷致候段誠 ニ恐綿ノ至リニ御座候自今如斯損傷致候段誠ニ恐綿ノ至リニ御座候自今如斯

